

## 実務経験のある教員等による授業科目一覧（2019年度）

【理工学部・人文学部・経済学部・情報学部・教育学部・経営学部・デザイン学部・心理学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
自立と体験2 (社会の課題と出会う)	全学共通科目	福山 佑樹 鈴木 浩子 平塚 大輔 南 愛 太田 昌宏 高橋 南海子 菅原 良 落合 一泰 石野 由香里	2	2019年の本講義は、学生に「食に関する未来像」を考えさせる授業である。授業では学生にテーマについて考えるきっかけを与えるために、食品業界などから講師を招き、「食」に関する実務経験を生かしたゲスト講義を行う。
多摩と生活	全学共通科目	秀村 研二 高橋 珠州彦	2	茨城県古河市誌編集委員会調査員として民俗調査を担当した経験より、多摩地域の民俗文化について類似性と差違点について考慮しながら授業をおこなう。 中学校及び高校での教育経験を活かし、知識偏重にならない授業に取り組んでいる。隣接諸分野の先生方と共通するフィールドにおいて連携した授業展開を行うことで、地域の多面的な理解を心がけている。
多摩を歩く	全学共通科目	高橋 珠州彦	2	中学校及び高校における教育経験を活かし、フィールドワークの初歩や景観観察などの技術を実践的に会得するための授業展開を行っている。また青年海外協力隊経験から、現地での情報収集力の向上を目指している。
多摩と自然	全学共通科目	高橋 珠州彦	2	中学校及び高校での教育経験から、自然分野と人文分野の知識や学習内容が融合できる授業実践を行っている。中学校及び高校での学習が知識の羅列にならないよう、学問分野の枠を超えた学習を心がけている。
地理学で知る自然と環境	全学共通科目	高橋 珠州彦	2	中学校及び高校教諭の経験から、授業では動画資料等を用い、初学者に理解しやすい展開を心がけている。また農業環境技術研究所での助手経験から、デジタルマップを用いて自然環境と人間活動の関係について解説をしている。
社会科学論A	全学共通科目	土野 瑞穂	2	「ジェンダーと社会生活」をテーマとする本科目においては、国会議員秘書の経験を生かし、意思決定過程における女性の過小代表の問題や、キャリアを追求していくことと家庭生活との両立の困難さを伝えることで、受講生にジェンダーと社会生活の結びつきを考えてもらう講義を行っている。
社会科学論B	全学共通科目	土野 瑞穂	2	「ジェンダーと社会生活」をテーマとする本科目においては、国会議員秘書の経験を生かし、意思決定過程における女性の過小代表の問題や、キャリアを追求していくことと家庭生活との両立の困難さを伝えることで、受講生にジェンダーと社会生活の結びつきを考えてもらう講義を行っている。
現代政治A	全学共通科目	土野 瑞穂	2	「ジェンダーをめぐる政治」をテーマとする本科目においては、国会議員秘書の経験を生かし、法律や制度に関する意思決定過程における女性の過小代表について、具体的にどのような問題が生じるかを伝えている。それによって受講生に、制度や法律が人々にとって公平なものとなるにはどうすればよいかを考えてもらうことを狙いとしている。
現代政治B	全学共通科目	土野 瑞穂	2	「ジェンダーをめぐる政治」をテーマとする本科目においては、国会議員秘書の経験を生かし、法律や制度に関する意思決定過程における女性の過小代表について、具体的にどのような問題が生じるかを伝えている。それによって受講生に、制度や法律が人々にとって公平なものとなるにはどうすればよいかを考えてもらうことを狙いとしている。
グローバル時代の経営A	全学共通科目	名取 修一	2	①部品加工会社の監査役、町工場の経営と海外子会社の設立、②発注元発注先をつなぐクラウド型見積ソフト開発、会社設立、取締役経験を通した経営実践、③大学での就職指導実践、これらの体験を基に、グローバル市場化の展開と産業変革、また今日求められる人材等を講義の中に織り込んでいる。
グローバル時代の経営B	全学共通科目	名取 修一	2	①部品加工会社の監査役、町工場の経営と海外子会社の設立、②発注元発注先をつなぐクラウド型見積ソフト開発、会社設立、取締役経験を通した経営実践、③大学での就職指導実践、これらの体験を基に、グローバル市場化の展開と産業変革、また今日求められる人材等を講義の中に織り込んでいる。
科学技術論A	全学共通科目	酒井 新一	2	企業にて30年超、スピーカの研究開発に携わり、音響工学の専門技術に関する実務経験のある教員が、音響工学の基礎として、スピーカの種類や設計法、音響計測などの実務経験を紹介しながら授業を行う。
物理学A	全学共通科目	酒井 新一	2	企業にて30年超、スピーカの研究開発に携わり、音響工学の専門技術に関する実務経験のある教員が、スピーカ音響工学で培った電気系・機械系・音響系の物理学をベースに運動・力学・波動・電磁気学等を交えて講義している。

物理学B	全学共通科目	酒井 新一	2	企業にて30年超、スピーカの研究開発に携わり、音響工学の専門技術に関する実務経験のある教員が、スピーカ音響工学で培った電気系・機械系・音響系の物理学をベースに運動・力学・波動・電磁気学等を交えて講義している。
化学A	全学共通科目	中村 克己	2	ドイツ留学(1983~1985)及び大手化学会社で30年以上の勤務経験より、産業に結びつけて日常の現象を化学的視点より解明し興味を抱けるようにしている。
化学B	全学共通科目	中村 克己	2	大手化学会社における新規材料開発と医薬品開発への従事経験を活かして、アップデートな先端科学(新規材料及び生命化学)を解説している。
ボランティア論	全学共通科目	枝見 太郎	2	1960年より日本におけるボランティア・市民活動の社会への啓発を目的として活動している財団法人の理事長として得た経験や研究を基に、実体験を中心とした授業を行っている。
図書館の基礎と展望	全学共通科目	二村 健	2	9年間の図書館業務の実務経験を活かして、図書館業務全般の解説をおこない、図書館とは何たるかを学生に講義している。
考古学A	全学共通科目	林 徹	2	40年にわたり遺跡の発掘調査・研究を行っている経験を活かして、映像を多用し、実際の遺物を回覧しながら、日本の先史文化について環境と人間の関係を軸として学ぶ。
考古学B	全学共通科目	林 徹	2	1987年以来、イースター島、タヒチ島、ハワイ島、グアム島などで遺跡の調査・研究を続けている経験を活かして、映像を多用し、実際の遺物を回覧しながら、太平洋地域の先史文化について環境適応の観点から学ぶ。
地理学で知る人間と社会	全学共通科目	高橋 珠州彦	2	中学校及び高校教諭の勤務経験を活かし、初学者に理解のしやすい解説や教材資料を用いた授業展開を行っている。また、青年海外協力隊参加による海外ボランティア経験を活かし、実体験に基づいた教材提供を行っている。
人文科学論1 【生活様式とデザイン】	全学共通科目	西村 美香	2	実際のものづくりに携わったデザイナーとしての実務経験を活かして、現代に至った生活様式についてデザイナーの視点から講義を行っている。
異文化で学ぶ英語	全学共通科目	藤原 愛	2	私立中学校、都立高校での経験を活かし、個々の学生が持つ様々な英語教育のバックグラウンドを考慮し授業を行っている。授業では、学習者が国際語としての英語や異文化理解の大切さについて知り、実践的に英語を使用することができるようになることを目標としている。
キャリアデザイン2	全学共通科目	南 愛 平塚 大輔	2	キャリアコンサルタントの資格を有し、企業での人事採用・労務管理の経験のある教員が、外部の専門家(弁護士、ファイナンシャル・プランナー)と連携し、社会で生きていく上で必要な労働問題や法律、お金についての知識や現実的な態度を醸成するための教育を行っている。
ボランティア実践1	全学共通科目	浅井 正行	1	アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコベイエリアを拠点とするNPO法人において、プログラムコーディネーターとして、国際結婚した日本人女性たちに対するソーシャルワーク支援を行った。その時の実務経験を事例として取り上げ、授業を行っている。
ボランティア実践2	全学共通科目	浅井 正行	1	アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコベイエリアを拠点とするNPO法人において、プログラムコーディネーターとして、国際結婚した日本人女性たちに対するソーシャルワーク支援を行った。その時の実務経験を事例として取り上げ、授業を行っている。
健康・スポーツ実習A リズムエクササイズ【A】	全学共通科目	平井 孝子	1	30年の体操指導、全国各地や海外でのラジオ体操普及活動、社会体育指導者向け講師、健康管理指導等の実務経験を活かし、①音楽を使って様々な働きを体験させ運動の楽しさを味わわせる、②姿勢・身体の使い方、健康管理の為の運動の必要性を伝える、③グループ創作等を通して仲間との協調性やコミュニケーション力を養う、等の教育を行う。
キャリアデザインA (理論で考える自己とキャリア)	全学共通 キャリア 形成科目	鈴木 浩子	2	民間企業の人事担当者経験、およびキャリアカウンセラー・企業研修講師としての幅広い年代向けのキャリアデザイン研修実施経験を活かし、学生が現在と将来のキャリアを考える授業を行っている。
		高橋 南海子		民間企業においてキャリア開発に関する教育プログラムや教材の開発制作、運営に携わった経験や、キャリアカウンセリング、学生支援の実務経験を活かし、学生が現在と将来のキャリアを考える授業を行っている。
計			53	

【理工学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
化学演習	学科科目	上本 道久	1	前職時代に企業からの技術相談や企業技術者教育事業に従事していた経験を活かして、実社会での化学技術の知識の重要性を説くことで化学履修の動機づけを行っている。
技術者の生き方と安全管理	学科科目	小林 利夫	2	民間企業の技術者として、業務を遂行する上での倫理上の問題点や課題について、実務での経験等を踏まえた話をしている。
		本郷 保夫		電機製造会社にて、研究、開発、技術企画などを経験し、知財権、ビジネス、マーケティングなどで重要な社会現象を講義にて学生に紹介している。その中で自分で行動を選択するときの是非を判断する練習をする。
		鱒沢 曜		本授業科目は、建築・土木に係る技術者としての経験を有する教員が、その実務経験を生かし、技術者に求められる倫理観と安全に対する考え方について関心を持って学習できるよう配慮した教育を行っている。
		矢島 寿一		今まで実社会で経験してきた技術者のあり方や実現現場での安全管理の手法を学生にわかり易く説明している。
		宮本 岳史		機械技術者が関わる安全問題について、前職の業務で担当した鉄道車両の事故調査経験をもとに、講義を行っている。鉄道事故は人命に直結することから、機械設計の重要性を解説している。
計算物理学Ⅰ	学科科目	石川 博久	2	10年近くラトックシステムエンジニアリングでC言語を用いて画像解析ソフトの開発を行った。その経験を用いた授業を行っている。
計算物理学Ⅱ	学科科目	石川 博久	2	10年近くラトックシステムエンジニアリングでC言語を用いて画像解析ソフトの開発を行った。その経験を用いた授業を行っている。
光学	学科科目	小野寺 幸子	2	前職の国立天文台野辺山宇宙電波観測所において、光学を用いた観測装置の制御や望遠鏡の性能向上のための研究に従事した経験を生かし、光学の物理的基礎から最先端の光学技術までを網羅した講義を行っている。
天体観測	学科科目	小野寺 幸子	2	前職の国立天文台野辺山宇宙電波観測所において、大型の望遠鏡を用いた天体観測と研究に従事した経験を生かして観測やデータ解析について講義と実践的学習を行っている。現役の国立天文台の研究者も招いて、データ解析や観測の最先端を紹介する講義もを行っている。
応用物性	学科科目	荻野 俊郎	2	半導体の基礎研究からデバイス開発まで実務経験のある教員が、固体物性とその応用について講義している。
ナノ・バイオテクノロジー	学科科目	清水 光弘 原田 久志 三塚 義弘 渡邊 幸夫 松本 一嗣 田代 充 須賀 則之 香川 亘 西條 純一 富宿 賢一	2	ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどのトピックスを他大学、研究所や企業の方を講師に招き、オムニバス形式でとりあげ、化学と生命科学の最前線の一端を理解する。
応用無機化学	学科科目	中村 克己	2	化学社会における工業触媒開発の経験より、d元素の応用として金属及び金属酸化物による実用工業触媒開発をシュミレーションする。また同時に工業生産の基礎となる化学工学の実際を教示する。
高次生命機能学	学科科目	松本 一嗣 安達 禎之 池本 光志 進藤 軌久	2	産業技術総合研究所やがん研究所に所属し、「脳、神経に関する実験技術等」や「がんのメカニズムの最新研究」などの研究開発の実務経験のある教員が、実務経験を活かした具体例を示した教育を行っている。
微生物学	学科科目	西沢 正文	2	企業の研究所において遺伝子組換え技術開発・応用研究に従事した経験を活かした教育を行っている。
分析化学Ⅰ	学科科目	田代 充	2	企業の研究所における低分子化合物の構造解析の経験を基に、効率的な解析法について講義、演習を行っている。
無機材料化学	学科科目	中村 克己	2	大手化学会社におけるファインセラミックス開発経験から特に高純度な電子材料・機械材料の開発と人工生体骨開発に焦点を絞って、先端材料開発を教示し机上での開発を体験させている。
ロボット工学	学科科目	山崎 芳昭	2	企業の研究所にてメカトロニクス機器の研究・開発に18年間携わってきた実務経験を活かして、企業でも広く用いられている制御系の解析ソフトMATLAB/SIMULINKをロボットのリンク機構解析の実習課題に応用している。
社会エネルギー工学概論	学科科目	石田 隆張	2	メーカー在職時における「電力会社向け中央給電所向け計算機システムの開発」の実務経験を活かし、日本の電力系統の実情、発電設備の実情、送電設備の実情についての解説を交えた講義、講義中の演習を実施している。
		櫻井 達也		教員が前職の環境コンサルタント時代に実施した「大気汚染物質排出規制に係る環境アセスメント業務」を講義の題材とし、「学び」と「実務」の接続性を意識した講義になるよう心掛けている。
制御工学	学科科目	山崎 芳昭	2	企業の研究所にてメカトロニクス機器の研究・開発に18年間携わってきた。本講義では、企業でも広く用いられている制御系の解析ソフトMATLAB/SIMULINKを制御系の応答解析等の実習課題に応用している。

機械設計製図Ⅱ	学科科目	三上 隆男	2	企業の研究所でターボ機械（過給機、ジェットエンジン、ガスタービンなど）の開発に従事した経験を「小形往復空気圧縮機的设计」の授業で紹介し、工学に関心を持ってもらう。
		山口 方士		企業において機器開発に携わってきており、その経験を通して、大学で修得したことがどのように生かされるか、また、そのためには大学において何をすべきかを話すように心がけている。
機械力学Ⅱ	学科科目	宮本 岳史	2	機械の振動問題の一般論についてばね・質点系を用いて学習する。鉄道車両の振動を研究してきた経験から、鉄道車両など乗り物の振動を例にあげ、一般論と実際の振動との関連を解説している。
流体工学Ⅰ	学科科目	森下 悦生	2	流体工学の入門的な講義であり、航空宇宙分野への展開に取り組んでいる。企業において流体機械の開発研究に従事し、机上検討からはじめて、現在では世界中で生産が行われるまでになった。この間の実務経験から、流体工学が実際の設計や研究開発でどのように活用されるのかを、講義を通じて学生諸氏に伝えている。
流体工学Ⅱ	学科科目	森下 悦生	2	流体工学の入門的な講義であり、航空宇宙分野への展開に取り組んでいる。企業において流体機械の開発研究に従事し、机上検討からはじめて、現在では世界中で生産が行われるまでになった。この間の実務経験から、流体工学が実際の設計や研究開発でどのように活用されるのかを、講義を通じて学生諸氏に伝えている。
エネルギー工学	学科科目	小俣 和也	2	企業に30年在職した教員が、電気エネルギーをもとにした応用技術を実機器の設計・製造のイメージを持って教えている。
データ処理論	学科科目	嶋 好博	2	総合電気メーカーにおいて情報通信制御の研究業務に従事した経験のある教員が、コンピュータ内部における情報の表現形式について講義している。コンピュータによるデータ処理の演習（科学計算用言語MATLABとWindowsコマンド入力）を含む。
プログラミング基礎	学科科目	嶋 好博	2	総合電気メーカーにおいて情報通信制御の研究業務に従事した経験のある教員が、コーディングの知識や技能を幅広く、理解する。プログラミングの思考を身につける。統合開発環境を用いたC言語の簡単なプログラムを作ることができる。
応用電磁気学	学科科目	吉野 純一	2	通信機器メーカーにおける実務経験のある教員が、高周波伝送の基礎である伝送回路、電磁波、光ファイバケーブルの原理と構造、通信妨害の種類、各種伝送路の特徴、帯域幅、適用領域、アンテナの基礎について解説する。
交流回路学	学科科目	石田 隆張	3	メーカー在職時における「電力会社向け回路解析アドバンスドソフトウェアの開発」の実務経験を活かし、現実に利用されている回路理論の適用方法、回路の設計方法について解説を交えた講義、講義中の演習を実施している。
高電圧工学	学科科目	豊田 裕之	2	宇宙空間におけるプラズマとの相互作用や高エネルギー粒子による帯電・放電現象に関する基礎実験、宇宙機設計への反映、学生への講義（アジア冬の学校等）の実務経験を持つ。これを生かし、教科書の内容に加え現場の知識を伝える教育を行っている。
情報経営論	学科科目	嶋田 茂	2	大手電気会社で、データサイエンティストとしての実務経験があり、データベースの概念設計から論理設計、データベースの運用に至るまでの工程を実例を用いた演習形式で容易に習得できるように授業内容を工夫している。
情報通信実習Ⅱ	学科科目	嶋 好博	1	総合電気メーカーにおいて情報通信制御の研究業務に従事した経験のある教員が、工事担当者および電気通信主任技術者の国家受験を目指す学生を対象に、コンピュータによる通信技術の演習を含む実践的な授業を行う。
通信法規	学科科目	吉川 忠久	2	総務省総合通信局において国家試験の施行業務等に従事した経験を生かし、無線通信関係の国家資格を取得するための学習方法等について講義している。
通信網論	学科科目	石田 隆張	2	メーカー在職時における「デジタル放送送信設備の製品開発」の実務経験を活かし、変調方式、最新通信方式仕様の解説を交えた講義、講義中の演習を実施している。
電気回路学	学科科目	石田 隆張	3	メーカー在職時における「電力会社向け回路解析アドバンスドソフトウェアの開発」の実務経験を活かし、現実に利用されている回路理論の適用方法、回路の設計方法について解説を交えた講義、講義中の演習を実施している。
電気機器学	学科科目	稲葉 博美	2	エレベーターや圧延機の電気系（電気駆動系、制御系など）の研究経験を持つ教員が、実験指導書や教科書の内容を学生が理解しやすい表現や内容に噛み砕いて教育・指導を行っている。
電気電子計測	学科科目	山岸 久雄	2	南極での観測において、ロケットや大型気球に載せる観測機器の設計や調整を行う実務、短波帯のレーダー、無人観測システムの自然エネルギー電源、衛星通信装置運用の実務を行ってきた。そこで得た微小信号の取扱い、雑音対策、アースのとり方などの経験を講義に活用している。
電気電子製図	学科科目	甲斐 隆章	2	重電機器メーカー在職29年の保護継電システム（電力系統用）の開発や分散型電源の系統連係技術の開発経験を生かして、実社会で求められる製図技術などについて学生指導を行っている。
電気電子通信工学入門	学科科目	嶋 好博	2	総合電気メーカーにおいて情報通信制御の研究業務に従事した経験のある教員が、電気電子工学の基盤になる基礎数学の演習を、数値計算言語MATLABを用いて行う。
電気法規	学科科目	吉野 利広	2	電力系統運用、電気事故報告担当、電験講師、電気主任技術者免許申請取得支援、電気工事士実技講師、日本電気技術者協会委員などの経験を活かし、電気現象と電気安全面から取り決められているさまざまな規則との関連付けについて指導している。

電力工学	学科科目	新村 隆英	2	企業勤務の際の発電・変電・システム制御等の経験から、実務的な具体例を教材として実際の知識を学べるよう工夫している。
発電工学	学科科目	伊庭 健二	2	企業に23年間在職し、研究開発の実務経験のある教員が、発電機の構造、運用、制御に関して実務的観点から講義をしている。
半導体工学	学科科目	尾崎 義治	2	企業の研究所において半導体集積回路技術の研究開発に24年6ヵ月従事した教員が、電気電子系の学生なら修得しておくべき知識を経験にもとづいて精選し、講義している。
インテリアデザイン	学科科目	高橋 彰子	2	担当教員は公共建築・商業建築・住宅等のインテリアデザインの实務経験があるため、この経験を生かして、インテリアデザインに必要な基礎知識と教養を修得する授業を行っている。
ランドスケープ	学科科目	武田 有左	2	本授業では、学生達に建築を常にその周辺環境・都市環境との関係性の中で考える思考を身につけさせる為、私の実務上の経験を通じた事例を示しながら授業を進める共に、様々な分野のプロフェッショナルとの協業により成立する業界の実情を伝える為にも、特別講師として、各分野の最前線で活躍する若手実務家を招いて講義を行っている。
ワークショップ	学科科目	齊藤 哲也	1	実際に各種建築物や家具の設計監理業務に携わった経験を活かし、実物大の構造物をつくるための素材の選択、接合部の方法、およびデザイン性に関する教育を行っている。
造形デザイン演習	学科科目	大藪 元宏	2	自身で長く設計事務所を運営し、インテリアデザイン（家具等のデザインも含む）から大規模公共建築まで、建築に関係するあらゆるデザインの経験と知見をもとに卒業後の実務キャリアに役立ち、直結する教育を心がけている。
		齊藤 哲也		実際に各種建築物や家具の設計監理業務に携わった経験を活かし、造形の基礎デザインの基礎に関する教育を行っている。
		高原 康樹		建築の設計業務において、様々な条件、要求を整理し、建物の機能・デザインを実現している。そのプロセスは試行錯誤の連続である。授業では、その経験を生かし、生徒の造形的な課題の制作において有用なアドバイス、より良い作品の実現のための手ほどきを行っている。作品の講評はもとよりスタディ段階での意見のキャッチボールがより重要である。
建築マネジメント	学科科目	加藤 隆久	2	一級建築士で現役建築家の教員が担当。時間、コスト、品質の管理について、実務経験に沿って講義している。
建築意匠	学科科目	村上 晶子	2	公共施設、教会・修道院等の実務経験を活かして建築意匠（デザイン）の展開を行っている。
建築概論	学科科目	村上 晶子	2	公共施設、教会・修道院等の実務経験を活かして建築学全体を総覧した導入授業を行っている。
建築基礎力学	学科科目	矢島 寿一	2	実務で設計を行った、新宿南口や本庄早稲田駅での経験談や中央大学・明星大学駅付近の高架橋を実例としてあげ、学生の興味や身近なものとして構造力学を理解させる。
建築計画Ⅰ	学科科目	加藤 隆久	2	一級建築士で現役建築家の教員が担当。建築設計の基礎となる建築計画学を講義。実務経験を生かしながら、各建築用途に共通の項目について指導している。
建築計画Ⅱ	学科科目	加藤 隆久	2	一級建築士で現役建築家の教員が担当。建築設計の基礎となる建築計画学を講義。実務経験を生かしながら、用途ごとの建築について指導している。
建築構造力学	学科科目	矢島 寿一	2	実務で設計を行った、新宿南口や本庄早稲田駅での経験談や中央大学・明星大学駅付近の高架橋を実例としてあげ、学生の興味や身近なものとして構造力学を理解させる。
建築構法	学科科目	加藤 隆久	2	一級建築士で現役建築家の教員が担当。建築各部の構成と各種建築材料について実務経験を生かして講義している。
建築材料学	学科科目	松尾 智恵	2	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造などの構造設計経験を活かし、建物の構造体に適用される主要な材料を取り上げ、設計の際に留意すべき点などにも触れながら、材料がどのように製造され、適用され、そして、どのように壊れるのかを教える。
建築施工管理	学科科目	新海 哲朗	2	一級建築士、構造設計一級建築士、構造計算適合性判定員の資格を有し、建築構造設計・現場監理業務の実務経験のある教員が、実際の工事項目を通じて全体の工事内容や、法規の改正、新旧技術の内容の入れ替えなど最新の知見を網羅した内容を指導している。
建築診断・リフォーム	学科科目	降幡 真	2	古民家再生をはじめとしたリフォームの設計から施工及び施工監理まで全般に携わっている教員が、調査から設計、施工にわたる古民家再生を含めたリフォーム全般について考え方から進め方等の実際を教えている。
建築設計製図Ⅰ	学科科目	高橋 彰子 加藤 隆久 米田 正彦 遠藤 誠 寶神 尚史 木元 洋佑	2	担当教員は建築設計の実務経験を生かして、住宅設計の考え方、設計のプロセス、図面の描き方、プレゼン方法などを指導している。
建築設計製図Ⅱ	学科科目	齊藤 哲也 村上 晶子 遠藤 誠 寶神 尚史 潤平 有左 武田 有左	2	実際に各種建築物の設計監理業務に携わった経験を活かし、設計指導および製図指導の教育を行っている。

建築設計製図Ⅲ	学科科目	加藤 隆久 村上 晶子 大藪 元宏 武田 有左 田口 知子	2	一級建築士としての実務経験のある教員が、その経験を活かして、個人指導で建築設計を教えている。
建築設計製図Ⅳ	学科科目	村上 晶子 米田 正彦	2	一級建築士としての実務経験のある教員が、その経験を活かして、リノベーションから複合施設、まちづくりの計画の設計指導を行っている。
材料力学	学科科目	鱒沢 曜	2	本授業科目は、建築構造設計の経験を有する教員が、その実務経験を生かし、材料力学の理論が実際の建築物にどのように活かされているのかを理解しながら学習できるように配慮した教育を行っている。
人間工学とユニバーサルデザイン	学科科目	高橋 彰子	2	バリアフリーや人間の知覚特性に配慮した建築設計を行ってきた実務経験のある教員が、その経験を生かして、障がい者や高齢者、幼児等が安全に使え建築のデザインについて教えている。
測量学実習	学科科目	藤村 和正	2	港北ニュータウン建設や橋梁下部工事の建設現場において、水準測量、角測量などの工事測量に携わった実務経験のある教員が、測量学実習において、トランシットトラバース測量やレベル測量の実技を教育指導している。
地盤工学	学科科目	矢島 寿一	2	研究開発の中で経験した、地盤改良工法や場所打ち杭工法の新工法の考え方や施工方法をわかり易く説明し、学生に興味を持たせるようにしている。
鉄筋コンクリート構造	学科科目	鱒沢 曜	2	本授業科目は、鉄筋コンクリート構造の設計・監理および既存鉄筋コンクリート建物の調査・診断経験を有する教員が、その実務経験を生かし、鉄筋コンクリート構造の理論と実務との関連性を理解しながら学習できるように配慮した教育を行っている。
環境機器分析実験	学科科目	上本 道久	2	前職時代に企業からの依頼分析に従事していた経験を活かして、固体試料の全分析や幾何異性体の相互分離など、より現場寄りの具体的な実習項目を実施している。
環境情報処理	学科科目	櫻井 達也	2	教員が環境コンサルタント時代に活用していた環境データの統計処理手法や可視化手法を、講義形式で学生に学ばせている。ここで学んだ理論は『プロジェクトⅣ』にて実際に演習することとなっている。
環境分析化学	学科科目	上本 道久	2	地方独立行政法人（東京都立産業技術研究センター）時代に企業からの技術相談や依頼分析に従事していた経験を活かして、無機分析の具体的なニーズ例を話して学生の関心を高めている。
大気・熱汚染制御	学科科目	櫻井 達也	2	教員が環境コンサルタント時代に実施した「大気汚染物質排出規制に係る環境アセスメント業務」を講義の題材とし、「学び」と「実務」の接続性を意識した講義になるよう心掛けている。
大気環境学	学科科目	櫻井 達也	2	教員が環境コンサルタント時代に実施した「大気汚染物質排出規制に係る環境アセスメント業務」を講義の題材とし、「学び」と「実務」の接続性を意識した講義になるよう心掛けている。
地球環境学	学科科目	櫻井 達也	2	教員が環境コンサルタント時代に実施した「海外での環境アセスメント業務」を講義の題材とし、発展途上国での環境管理支援や環境技術支援に関する様々な活動を伝え、環境技術者としての今後のあり方を考えさせる講義内容としている。
基礎環境化学	学科科目	吾郷 万里子	2	元職、産業総合技術研究所にて化学分析・物質同定業務に従事していた実務経験を活かし、おもに化学の基礎的理論におく一方、具体的な例を挙げ、実践的な知識が身に付くよう教育を行っている。
応用環境化学	学科科目	吾郷 万里子	2	元職、産業総合技術研究所にて化学分析・物質同定業務に従事していた実務経験を活かし、おもに物理化学的な側面から物質循環、環境分析手法等について、具体的な実践的な知識が身に付くよう教育を行っている。
環境化学実験	学科科目	吾郷 万里子	2	元職、産業総合技術研究所にて化学分析・物質同定業務に従事していた実務経験を活かし、環境分析技術ならびに化学分析における基本的な実験技術の習得と理論の理解を促すよう、実験実習を通して実践的教育を行っている。
		手塚 美彦		
環境材料学	学科科目	吾郷 万里子	2	元職、産業総合技術研究所にて化学分析・物質同定業務に従事していた実務経験を活かし、あらゆる材料の物性と環境への影響について、具体的な材料の挙動を考察することで、実践的な知識が身に付くよう教育を行っている。
都市環境保全	学科科目	小林 利夫	2	建設コンサルタントでの担当業務である都市計画と公園緑地計画を通じて、都市環境の保全に配慮した居住環境と自然環境の調和した公園緑地等の実務経験の紹介や関係のある公共団体の取り組みを紹介している。
基礎生態学	学科科目	田口 正男	2	高等学校（生物）での教諭の経験を活かし、高等学校在学時に生物関連科目を履修しなかった学生にも配慮した基礎的指導を行い、学生の理解向上に努めている。
計			149	

【人文学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
都市地理学 1	学部共通科目	高橋 珠州彦	2	中学高校社会科教育の経験を活かし、歴史や地理の知識に偏らない授業展開を行っている。また、青年海外協力隊員としての海外経験から、外国の諸都市について実際の都市生活の様子などを交えた講義を行っている。
都市地理学 2	学部共通科目	高橋 珠州彦	2	中学高校社会科教育の経験を活かし、歴史や地理の知識に偏らない授業展開を行っている。また、青年海外協力隊員としての海外経験から、外国の諸都市について実際の都市生活の様子などを交えた講義を行っている。
編集論	学部共通科目	竹中 龍太	2	出版社勤務経験および企画・編集・校正等の実務経験を踏まえ、文章の書き方（コラム、書評など）や出版業界研究、本づくりについて教授している。
コミュニケーション論 1 A	学科科目	鳶村 麗子	2	ドラマセラピー、演劇ワークショップや研修の実務経験のある教員が、アクティブ・ラーニング中心の授業を行う。履修者同士が協力しながらゲームやドラマ表現、作品を作ることで、自己表現力や対人コミュニケーション能力を獲得していく。
コミュニケーション論 1 B	学科科目	鳶村 麗子	2	ドラマセラピー、演劇ワークショップや研修の実務経験のある教員が、アクティブ・ラーニング中心の授業を行う。履修者同士が協力しながらゲームやドラマ表現、作品を作ることで、自己表現力や対人コミュニケーション能力を獲得していく。
コミュニケーション論 II a	学科科目	鳶村 麗子	2	ドラマセラピー、演劇ワークショップや研修の実務経験のある教員が、アクティブ・ラーニング中心の授業を行う。履修者同士が協力しながらゲーム、ドラマ表現、作品作り、互いの価値観をシェアすることで、対人コミュニケーション力や多様性への理解を身につける。
コミュニケーション論 II b	学科科目	鳶村 麗子	2	ドラマセラピー、演劇ワークショップや研修の実務経験のある教員が、アクティブ・ラーニング中心の授業を行う。履修者同士が協力しながらドラマ表現したり、社会問題を考察していくことで、俯瞰して物事をみる力や対人コミュニケーション能力を身につける。
コミュニケーション論 III	学科科目	新美 知枝子	2	企業研修講師（上場企業等）、人材会社講師（PC）、視覚障害者の職能開発センター講師、職業指導員、視覚障害者専修学校講師の実務経験のある教員が、産業界のニーズに対応できるPCスキルやウェブコミュニケーション力の習得を目標に、その基礎となるモラルや障害者に配慮したアクセシビリティについて考える授業を行う。
映像翻訳 1 A（理論）	学科科目	新築 直樹 桜井 徹二 藤田 奈緒 石井 清猛	2	映画やドキュメンタリー番組などに用いられる字幕翻訳実務及びプロの映像翻訳者を育成する日本映像翻訳アカデミー株式会社でいずれも10年以上の勤務経験を持つ教員が、動画コンテンツを字幕翻訳する技能を、プロと同じツールなどを個々の学生に用意して指導する。
映像翻訳 1 B（理論）	学科科目	新築 直樹 桜井 徹二 浅川 奈美 石井 清猛	2	日本映像翻訳アカデミー株式会社にて様々な国際映画祭をサポートしている経験とコネクションから、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）主催「難民映画祭」に実際に出品され上映される映画の字幕翻訳を指導する。
映像翻訳 1 C（実習）	学科科目	新築 直樹 桜井 徹二 藤田 奈緒	2	日本映像翻訳アカデミー株式会社にて様々な作品の上映イベントをサポートしている経験から、学生が字幕翻訳した映画を大学内で上映する催しの企画・運営を学生自らが行うための指導をし、上映イベントを実施する。後半は、日本の映画に「英語字幕」を付ける技法を、同業務を行う教員が指導する。
社会イノベーション論	学科科目	片田 保	2	シンクタンクのコンサルタントとして社会課題の解決に貢献している実務経験を活かし、従来の常識に捉われない発想やデジタルテクノロジーなどを用い、学生が自ら社会課題を考え行動するための能力を培う教育を行っている。
社会学文献講読 A	学科科目	井上 啓	2	弁護士歴23年の実務経験のある教員が、日本労働弁護団、日本国際法学家協会のメンバーとして担当してきた各種事件を題材に、対立する利害関係をふまえて、法的な思考を養うべく、毎回設問形式で出題し、それに解答していく中で理解を深めてもらう。
社会調査法 A	学科科目	鶴沢 由美子	2	大学での社会学における学び、特に社会調査法を用いた社会調査実習で得た知識や技術をいかし、民放局の報道記者ディレクターとしてインタビューなどの取材を行った。本授業では、その取材経験を活かし、社会調査に関する指導を行っている。
情報社会論	学科科目	大内 斎之	2	新潟県内の民放局での28年間のニュース担当経験者が、実際のニュース現場、取材した経験から、現代の情報社会やメディアリテラシーについて解説する。
地域情報論	学科科目	大内 斎之	2	新潟県内の民放局での28年間のニュース担当経験者が、実際のニュース現場、取材した経験、およびローカルテレビやキー局との比較などについて解説する。
法律学概論	学科科目	井上 啓	2	弁護士歴23年の実務経験のある教員が、日本労働弁護団、日本国際法学家協会のメンバーとして担当してきた各種事件を題材に、対立する利害関係をふまえて、法的な思考を養うべく、毎回設問形式で出題し、それに解答していく中で理解を深めてもらう。

量的データ分析	学科科目	大竹 延幸	2	市場調査会社における調査企画からデータ解析までの実務経験を活かし、理論や解析法を説明するためのデータだけからでは分からないクライアントからの解析ニーズ（どのような解析ニーズがあるか）、解析ニーズに合った解析法の選択、結果のプレゼンテーション方法を交えた講義を行っている。
DTP編集	学科科目	末廣 伸行	2	編集プロダクションの第一線で活躍している教員がデスクトップパブリッシングを実践的に教えることにより、学生は編集者としての基礎能力を身につけることができる。
デジタル編集論	学科科目	鷹野 凌	2	編集プロダクションの第一線で活躍している教員がデジタル編集のやり方を体験をもとに授業を行うことにより、学生はデジタル編集作業の基礎知識を学ぶことができる。
古文書学	学科科目	海上 貴彦	2	東京大学史料編纂所の学術支援専門職員として史料編纂に携わった経験のある教員が、古文書の扱い方、解釈の仕方について指導をする科目である。
書道1	学科科目	雨宮 太虚	2	書道家として活躍している教員が、教職志望および書道を習得したい学生を対象に、書道の実技指導を行う。
書道2	学科科目	雨宮 太虚	2	書道家として活躍している教員が、教職志望および書道を習得したい学生を対象に、書道の実技指導を行う。
身体表現文化1	学科科目	谷本 健吾	2	能楽の第一人者である教員が、学生に謡曲を一つ覚えさせることにより、日本文化に対する理解を深める。
日記・記録の中の日本	学科科目	小池 勝也	2	東京大学史料編纂所や神奈川県立金沢文庫等での史料調査経験を講義中の説明などに活かしている。
日本語教育	学科科目	宗像 みなみ	2	日本語教師として現役で活躍している教員が、実践的な日本語教育の授業を行い、学生に模擬授業などの体験をさせることにより、日本語教育への理解を深める。
日本人と外国語	学科科目	大西 由紀	2	担当教員は翻訳者として演劇上演の現場に携わった経験がある。授業は外国を舞台とする演劇作品を日本人が上演する際の困難について豊富な実例を検討するものである。
日本文化体験	学科科目	向後 恵里子	2	競技かるた、能楽、茶道、写し絵、講談の各分野の第一人者が講師となって学生に文化体験をさせることにより、日本文化に対する理解を深める。
編集工学	学科科目	竹中 龍太	2	出版社勤務経験および書籍・雑誌等の企画・編集・校正等の実務編集経験を踏まえ、メッセージの適切な伝え方やメディア（冊子、ウェブサイト）のつくり方などを教授している。
翻訳実習1	学科科目	大西 由紀	1	担当教員は実務翻訳者として10年以上の経験がある。担当科目では、学生に毎週150ワード程度の英文を翻訳させ、より読みやすい日本語にするためのフィードバックを行っている。
翻訳実習2	学科科目	大西 由紀	1	担当教員は実務翻訳者として10年以上の経験がある。担当科目では、学生に毎週150ワード程度の英文を翻訳させ、より読みやすい日本語にするためのフィードバックを行っている。
翻訳論	学科科目	大西 由紀	2	担当教員は実務翻訳者として10年以上の経験がある。授業は近代日本の翻訳文学を実例に即して見ていくものだが、現代のエンタメ作品の翻訳・翻案の実例も取り上げている。
博物館概論	教職・資格科目	小林 央	2	博物館で学芸員として実際に働いている者が、教員として、博物館のあるべき姿と実際の学芸員の業務全般・博物館の運営のされ方など、写真や実物資料を使って、博物館活動を知る。
博物館教育論	教職・資格科目	小林 央	2	博物館で学芸員として実際に働いている者が、教員として、実際に行われている博物館の教育的事業の取り組みと、その考え方や方法を紹介し、諸外国の実例を参考として、今後の博物館教育のあり方を考える。
博物館経営論	教職・資格科目	小林 央	2	博物館で学芸員として実際に働いている者が、教員として、実際に博物館で導入・実施されてきた経営的運営方法や経営的視点を紹介しながら、現在・将来の博物館経営を各々が考えることに重点を置く。
博物館資料保存論	教職・資格科目	村松 裕美	2	美術修復家として現役で活躍している教員が、美術修復の経験に裏付けられた博物館資料保存に関する諸知識や技術・方法を教えることにより、資料保存の意義と保存方法への理解を深める。
博物館資料論	教職・資格科目	田辺 可奈	2	博物館に勤務した経験を有する教員が、その勤務経験を踏まえて、歴史資料を中心とする各種博物館資料の特徴やそのやり取り扱い方などを教え、展示の中心である博物館資料への理解を深める。
博物館情報・メディア論	教職・資格科目	小林 央	2	博物館で学芸員として実際に働いている者が、教員として、現在の博物館を取り巻く情報・メディアの環境または考え方を紹介し、情報・メディアに関するリテラシーを身につけ、将来の博物館のあるべき姿を考える。
博物館展示論	教職・資格科目	奥間 政作	2	都内の美術館に勤務する教員が、博物館展示の経験を活かして教えることにより、有効な展示方法や企画の立て方などについて理解を深める。
ソーシャルワーク演習・実習指導	学科科目	川松 亮	2	児童相談所や児童養護施設等の児童福祉施設勤務経験を基に、相談対応の実状やあり方を、具体例も活用しながら教授している。
マイノリティ論	学科科目	加藤 めぐみ	2	難民支援NPOの職員と当事者をゲストスピーカーとして招き、日本における難民支援の現状を聞き、その在り方を考える。
現代社会と福祉1	学科科目	馬場 康彦	2	社会福祉の本質的理解を深めると共に、様々な福祉現場で実践家をゲストスピーカーとして招き、児童・高齢・障害・地域福祉等総合的に理解を深める講義を実施している。
現代社会と福祉2	学科科目	馬場 康彦	2	様々な福祉現場での実践家をゲストスピーカーとして招き、児童・高齢・障害・地域福祉の実践を通じ、総合的に理解を深める講義を実施している。

高齢者福祉論Ⅰ	学科科目	佐藤 徹郎	2	特別養護老人ホームでのケアワーカーやソーシャルワーカーとしての実務経験をもつ教員が、その実務経験を生かして、介護の実技や面接の技法をレクチャーし、臨場感のある授業を行っている。
高齢者福祉論Ⅱ	学科科目	山井 理恵	2	医療ソーシャルワーカーや社会福祉協議会職員、地域包括ケア推進協議会委員長などの経験のある教員が、高齢者のニーズを解説し、それらを充足するための制度やサービスの活用方法、政策立案の過程などの事例をもとに講義を実施している。
子ども福祉論	学科科目	川松 亮	2	児童相談所や児童養護施設等の児童福祉施設勤務経験を基に、相談対応の実状やあり方を、具体例も活用しながら教授している。
実践手話	学科科目	田原 直幸	2	手話講師としての長年の実務経験のある教員が、聴覚障害者の理解と手話の果たす役割や、手話を使った自己紹介や基本的な日常会話を指導している。
社会福祉学特講Ⅰ（福祉住環境論）	学科科目	瀬戸 眞弓	2	住宅建設会社の設計デザイン部門におけるデザイナー、また、現在は一級建築士事務所の管理建築士として、バリアフリー等の福祉に関連深い住環境の設計実務の経験を生かし、福祉住環境の理論と実際の融合をめざした授業を行う。
就労支援と権利擁護	学科科目	原 智彦	2	特別支援学校（26年間）と就労支援センター（2年間）で、障害者の進路指導及び就労支援に携わった。その経験を生かして具体的な支援事例を紹介しながら、障害者の就労支援と権利擁護の実践についての理解を深め、支援計画作成の際の実践的な観点を身につけられるようにしている。
障害学Ⅰ	学科科目	吉川 かおり	2	障害者支援の経験を踏まえ、障害を個人の問題としてではなく、社会の現象としてとらえ、障害者支援の知識を深め、考察できるように実施している。
障害学Ⅱ	学科科目	吉川 かおり	2	障害者支援の経験を踏まえ、社会システムの現状と、障害者の位置づけを理解し、課題に関する改善等考える力を身につけられるように実施している。
障害者スポーツ論	学科科目	玉置 佑介	2	都内のスイミングスクールにて1998年より障害者水泳の指導員として従事。その指導経験を社会学・障害学の視点を通して実践的に教授。講義では、ブライندウォーク、障害者水泳施設への見学実習、障害者への水泳指導の方法等を中心に教育を実施している。
心理学	学科科目	小田 潤	2	行政機関における精神保健福祉士の経験を活かし、心理学概論や心理検査等について理解を深める講義を実施している。
人体機能と疾病	学科科目	田野 将尊	2	精神科単科病院、認知症デイサービス、透析病院の看護師の実務経験を持つ教員が、解剖生理学や病理学、障害学、リハビリテーション学などについて実体験を踏まえ、具体例を紹介しながら講義を行っている。
精神医学Ⅰ	学科科目	飯田 茂	2	精神科医師として長年の経験を踏まえ、地域医療の視点から精神医学概論の講義を実施している。
精神医学Ⅱ	学科科目	増田 章	2	精神科医師として、アウトリーチ治療の経験から、在宅生活者の精神科医療の在り方を踏まえ、治療・診断・症状に関する講義を実施している。
精神科リハビリテーション論Ⅰ	学科科目	小田 潤	2	行政機関における精神保健福祉士としての長年の経験を活かし、精神科医療におけるリハビリテーションについて講義を実施している。
精神科リハビリテーション論Ⅱ	学科科目	小田 潤	2	行政機関における精神保健福祉士としての長年の経験を活かし、精神科医療におけるリハビリテーションについて講義を実施している。
精神保健福祉援助演習Ⅱ	学科科目	倉島 ひろみ	1	精神保健福祉士の資格を有した当職の、社会福祉協議会や社会福祉関係の現場で行ってきた相談援助経験をもち、実際の事例や現場で起こりうる場面を設定して事例検討や演習を行っている。
精神保健福祉援助各論Ⅰ	学科科目	荻澤 健志	2	医療・行政機関の精神保健福祉士として長年の経験を活かし、精神障害者に対する各種援助技術についての講義を実施している。
精神保健福祉援助各論Ⅱ	学科科目	荻澤 健志	2	医療・行政機関の精神保健福祉士として長年の経験を活かし、精神障害者に対する各種援助技術についての講義を実施している。
精神保健福祉論Ⅰ	学科科目	妹尾 和美	2	地域における精神保健福祉士としての経験を踏まえ、精神障害者に対する理解や人権の重要性や生活支援について実施している。
精神保健福祉論Ⅱ	学科科目	妹尾 和美	2	在宅の精神障害者の地域生活支援の経験を活かし、精神保健福祉法や医療観察法等の講義を実施している。
精神保健福祉論Ⅲ	学科科目	妹尾 和美	2	在宅の精神障害者の地域生活支援の経験を活かし、障害者総合支援法の基づく各種サービスと関係機関の連携について講義を実施している。
相談援助演習Ⅰ	学科科目	山井 理恵 浅井 正行 末永 睦子 望月 隆之	1	高齢・医療・障害等の分野において経験のある教員が児童・高齢・障害等に関するロールプレイや事例の検討を行うことにより、ソーシャルワークに必要な面接技術や価値・倫理についての理解を深めるような演習を行っている。
相談援助演習Ⅱ	学科科目	山井 理恵 浅井 正行 末永 睦子 望月 隆之	1	高齢・医療・障害等の分野において経験のある教員が児童・高齢・障害等に関するインテーク、アセスメント、ケアプラン作成、モニタリング、評価などのソーシャルワークにおける個別支援についてのプロセスについて演習を行っている。またゲストスピーカーとして児童養護施設職員より、児童養護施設の利用者や退所者へのアフターケアに関する解説と演習を実施している。
相談援助演習Ⅲ	学科科目	山井 理恵 末永 睦子 望月 隆之 菊地 里恵	1	高齢・医療・障害等の分野において経験のある教員が児童・高齢・障害等に関する地域支援の展開、施設運営、行政の政策立案について、事例をもとに演習を行っている。また、ゲストスピーカーとして社会福祉協議会職員より社会福祉協議会の役割と活動についての演習を実施している。

相談援助演習Ⅳ	学科科目	山井 理恵 末永 睦子 望月 菊地	1	高齢・医療・障害等の分野において経験のある教員が児童・高齢・障害、地域などの事例研究を中心とした演習を実施している。また、ゲストスピーカーとして、障害者グループホームの施設長より、障害者施設の運営や関係機関との連携についての演習を実施している。
相談援助演習Ⅴ	学科科目	鈴木 裕介 浜野 智之 望月 隆之 高柳 瑞徳	1	高齢・医療・地域福祉分野等の分野において経験のある教員が児童・高齢・障害、地域福祉に関する事例を用いて、ソーシャルワークの価値・知識・技術への理解を深める。
相談援助論ⅠA	学科科目	山井 理恵	2	医療ソーシャルワーカーや社会福祉協議会職員、地域包括ケア推進協議会委員長、障害者施設の監事などの経験のある教員が、ソーシャルワーカーの役割や支援プロセスについて、事例をもとに講義を実施している。
相談援助論ⅠB	学科科目	山井 理恵	2	医療ソーシャルワーカーや社会福祉協議会職員、地域包括ケア推進協議会委員長、障害者施設の監事などの経験のある教員が、ソーシャルワークの技能の理解のために、契約書、記録、ケアプラン作成の作成方法を解説し、学生に体験される講義を実施している。
相談援助論ⅡA	学科科目	高橋 明美	2	20年以上の福祉現場における相談援助の経験を活かし、理論と実践の結びつけを事例・実例を用いて行っている。
相談援助論ⅡB	学科科目	高橋 明美	2	20年以上の福祉現場における相談援助の経験を活かし、理論と実践の結びつけを事例・実例を用いて行っている。
多文化ソーシャルワーク論	学科科目	浅井 正行	2	アメリカ・カリフォルニア州サンフランシスコベイエリアを拠点とするNPO法人において、プログラムコーディネーターとして、国際結婚した日本人女性たちに対するソーシャルワーク支援を行った。授業では、その時の実務経験を事例として取り上げている。
地域ニーズ開発	学科科目	吉川 かおり	2	障害者支援・福祉機器作成実務経験を踏まえ、地域における多様なニーズや資源・支援者について、実際の現場に赴き体験をした上で理解を深める講義を担当。
地域福祉論Ⅰ	学科科目	鈴木 裕介	2	医療ソーシャルワーカーとしての経験を踏まえ、地域福祉の歴史や必要性と主体と対象について理解を深めている。
地域福祉論Ⅱ	学科科目	鈴木 裕介	2	医療ソーシャルワーカーとしての経験を踏まえ、地域福祉の推進方法に主体的に考察し、今後の在り方について論じられるような講義を実施している。
貧困論	学科科目	渡辺 芳	2	ホームレス支援の経験を活かし、生活保護の必要性と貧困・低所得者の現状と支援制度について学ぶ。
福祉経営論	学科科目	廣瀬 豊邦	2	金融機関・介護保険事務所の経営経験を踏まえ、社会福祉法人など各種の組織と基礎理論及び管理運営方法について理解する講義を実施する。
福祉行財政論	学科科目	廣瀬 豊邦	2	金融機関勤務・福祉事業所経営の経験と社会福祉士としての専門性を活かし、福祉制度の仕組みと福祉行財政の主となる各種福祉計画に関する講義を実施している。
福祉専門職論Ⅰ	学科科目	高橋 明美	2	日本のみならず韓国での実践もふまえ、ソーシャルワークの普遍的な価値について、多面的な検討ができるよう、多くの事例を使って授業を行っている。
福祉専門職論Ⅱ	学科科目	高橋 明美	2	相談援助だけではなく、施設・機関のマネジメントの経験を活かし、新人が即戦力として実践ができるよう、実践力の獲得に力を入れた授業を行っている。
保健医療サービス論	学科科目	末永 睦子	2	福祉の実践者として知っておくべき制度や、医療をめぐる課題について、医療ソーシャルワーカーとしての経験を生かし、具体的な事例をもとに講義することで、医療についてのイメージが持てるように工夫している。
計			158	

【経済学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
地方財政論 1	学科科目	安田 満	2	地方財政論の講義では、教科書に書かれていても、各自治体内部でしかわからない課題も数多くある。現場の市の財政課の職員を招聘し、市の特徴や財政状況について講演していただくことで、学生は地方財政の理解がより深まる。
簿記入門 1	学科科目	柳 綾子	2	税理士として、会計・税務・経営コンサルティング業務等の実務経験のある教員が、実際の企業の取引・簿記処理・決算にいたるまでの会計業務を講義する。
簿記入門 2	学科科目	柳 綾子	2	税理士として、会計・税務・経営コンサルティング業務等の実務経験のある教員が、実際の企業の取引・簿記処理・決算にいたるまでの会計業務を講義する。
経営学入門 1	学科科目	名取 修一	2	実務経験では、①部品加工会社の監査役、町工場の経営と海外子会社の設立、②発注元発注先をつなぐクラウド型見積ソフト開発、会社設立、取締役経験を通じた経営実践、③大学での就職指導実践、これらの体験を基に、現代企業論及び経営学における各論を内容に織り込んでいる。
経営学入門 2	学科科目	名取 修一	2	実務経験では、①部品加工会社の監査役、町工場の経営と海外子会社の設立、②発注元発注先をつなぐクラウド型見積ソフト開発、会社設立、取締役経験を通じた経営実践、③大学での就職指導実践、これらの体験を基に、現代企業論及び経営学における各論を内容に織り込んでいる。
キャリア講義 2	学科科目	小島 賢治	2	総合商社として海外経験が多く、また取引先として数多くの企業と接してきた。この経験を生かし、小売業、メーカー、商社、サービス等様々な業界の企業研究を通じて、就活情報を取得させるための講義を行っている。
		小川 聡志		企業での採用活動に係る実務経験を活かして、応募書類の書法、自己PRの添削を交えた、キャリアデザインの描き方について指導している。
計			12	

【情報学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
アルゴリズムとデータ構造 I	学科科目	丹治 昭夫	2	教育用実験機器の製品開発におけるプログラムの開発の実績をもとに、アルゴリズムとデータ構造の事例の一部にフォーカスを当て、実際のプログラムコード例を通して概念と実現方法の知識を身につけられるような教育を行っている。
イメージングソフトウェア基礎	学科科目	川原 万人	2	CADコンサルタントの実務経験のある教員が、コンピュータグラフィックスにおける、表示データの扱い、表示のための図形の数理解、それらのプログラミングの基礎について講義演習を行っている。
イメージングソフトウェア II	学科科目	川原 万人	2	CADコンサルタントの実務経験のある教員が、コンピュータグラフィックスにおける、3次元データの扱い、表示のための図形の数理解、それらのプログラミングの基礎について講義演習を行っている。
ネットワークコンピューティング	学科科目	中村 哲夫	2	西暦2000年問題対策など、会社の情報システム部門最高責任者として取り組んだ情報システムのトラブルシューティング経験を、実学として授業内で紹介している。
ネットワークセキュリティ	学科科目	古川 泰弘	2	情報システムに対する監査業務、ぜい弱性テストの経験のある教員が、ネットワークの点検方法、防止方法、対処について教育を行なっている。
プログラミング II	学科科目	吉岡 紫 丸山 一貴	4	ドライバ、BIOS、制御ソフトの開発経験を通して、C言語、アセンブリ言語、コンピュータアーキテクチャに関する知識を有している。プログラミングの授業において、エンジニアになるために必要な知識を学生が習得できるよう指導している。
プログラミング序論	学科科目	大石 彰誠	4	プログラミングを用いたアートや広告におけるインタラクティブ作品制作を行っている。プログラミングの基礎を学ぶこと、自分の興味とプログラミングとを繋げること、それを研究に繋げるためのヒントや勉強の仕方を伝えられるように授業を行っている。
マルチメディア工学	学科科目	今井 篤	2	NHKで番組制作およびマルチメディアに関する研究・開発を担当。業界の技術トレンドを毎年紹介する中で、教室での学びがそれらにどうつながるのかを具体的にイメージできるように講義を組み立てている。
情報技術	学科科目	丹治 昭夫	2	教育用実験機器の製品開発と販売の実務経験や会社経営をもとに国家資格である基本情報処理技術者試験で出題される分野のうち、製品設計のプロセスや販売や顧客管理などのマネジメント分野について、用語解説などを通して知識を身につけられるような教育を行っている。
組込みシステム基礎	学科科目	中村 哲夫	2	エレクトロニクスメーカー在職時に経験した、数々の組込みシステム開発経験を、授業内で実例として紹介し、理屈だけではなく実学としての組込みシステムの教育に役立てている。
知的所有権	学科科目	田坂 一朗 中辻 史郎 福田 秀幸	2	弁理士としての実務経験のある教員が、知的所有権に関する概論及び基本的な手続き事項について講義する。
計			26	

【教育学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
放課後子ども支援論	学科科目	小暮 健一	2	学童保育指導員（約40年）の実務経験と、同時に研究活動（学童保育・スウェーデン・歴史をテーマに日本保育学会、日本社会福祉学会、日本学童保育学会、歴史教育者協議会）等を行ってきた経験を活かし、生きた事例でわかりやすく、学生の身近な事柄を組み入れ、今の課題・問題を随時取り上げた授業を行っている。
初等国語指導法研究 1	学科科目	邑上 裕子	2	小学校教師として、長きに渡り国語教育を研究してきた。特に音声言語における主体的な学び手の育成に向けて単元開発をしてきた。新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に通じることから、学習過程の工夫を学生に考えさせるようにしている。
初等国語指導法研究 2	学科科目	邑上 裕子	2	教育行政における指導主事時代には、新しい教育のあり方を指導助言してきた。その経験を生かし、思考力を育成する視点で、「読むこと」の教材を分析する方法を伝え、学生自ら、教材の価値を見出させるようにしている。
初等算数指導法研究 1	学科科目	杉山 直道	2	専修教員免許を持ち、小学校教員として算数科指導の経験がある。その経験を生かし、実際の小学校算数科授業の画像や映像を利用したり、児童の反応・躰きを明示したりした内容を展開している。
初等算数指導法研究 2	学科科目	杉山 直道	2	専修教員免許を持ち、小学校教員として算数科指導の経験がある。その経験を生かし、実際の小学校算数科授業の画像や映像を利用したり、児童の反応・躰きを明示したりした内容を展開している。
初等図画工作指導法研究 1	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
初等図画工作指導法研究 2	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
外国語活動指導法研究 1	学科科目	相田 眞喜子	2	小学校の英語の専科教員及び現職教員への研修講師としての実務経験を活かし、小学生がどのように外国語を学ぶか、小学生にどのように外国語を教えたらいいか、教員として必要な基礎的な知識、考え方、技術を身につける。
		渡辺 麻美子		小学校において英語専科教員として子どもに英語を教えている経験をいかして、子どもの言語習得、及び指導法等を教育する。
外国語活動指導法研究 2	学科科目	相田 眞喜子	2	小学校の英語の専科教員及び現職教員への研修講師としての実務経験を活かし、小学生がどのように外国語を学ぶか、小学生にどのように外国語を教えたらいいか、教員として必要な基礎的な知識、考え方、技術を身につける。
		渡辺 麻美子		小学校において英語専科教員として子どもに英語を教えている経験をいかして、子どもの言語習得、及び指導法等を教育する。
特別なニーズ教育総論	学科科目	島田 博祐	2	臨床心理士・特別支援教育士として知能・発達検査などのアセスメントを行った経験を活かし、知的障害児者の心理特性に関し、講義に加え演習を交えたアクティブ・ラーニング形式で、学生に指導している。
		廣瀬 由美子		小学校教員の20年間で、通常の学級及び特別支援学級を担当した経験から、それらの知見や経験を生かしアクティブ・ラーニングの授業方法を取り入れて実施している。
		星山 麻木		特別支援学校での教諭、療育センター発達相談支援の経験を活かし、特別なニーズの必要な子どもへの対応を実践的にアクティブ・ラーニングを取り入れ、行っている。
		森下 由規子		小学校、特別支援学級、特別支援学校での教諭、特別支援教育コーディネーターの経験を活かし、特別なニーズの必要な子どもたちへの対応をアクティブ・ラーニングを取り入れて行っている。
環境教育論	学科科目	和田 薫	2	中高教員(理科)の経験を生かして、環境教育の理論と実際に現場で展開する際の知識を具体的な教材を紹介しながら実習形式で教えている。
音楽療法	学科科目	星山 麻木	1	療育センター、乳幼児発達支援グループ、子育て支援等での音楽療法士としての経験を生かし、音楽療法を特別支援学級や特別支援学校での指導法に生かすべくアクティブ・ラーニングを取り入れ、行っている。
企業内教育論	学科科目	石戸 康弘	2	全国各地集落の住民会議や寄り合いワークショップにおける地域再生に向け意見交換や情報収集、集約と合意形成をKJ法応用により支援協力してきた。本授業では、企業や組織の現場における個としていかに仕事を成し遂げていくか考える。
人材教育論	学科科目	石戸 康弘	2	全国各地集落の住民会議や寄り合いワークショップにおける地域再生に向け意見交換や情報収集、集約と合意形成をKJ法応用により支援協力してきた。本授業では、KJ法応用編、写真分析法を使う。野外に出、公共空間、景観、造形、アート作品、身近な資源を取材。結果は、写真と説明コメントを駆使し構造図にまとめる。身近な素材をもとにイノベーションを提案表現し、最終回にはプレゼンを行う。
知的障害者の心理	学科科目	島田 博祐	2	臨床心理士・特別支援教育士として知能・発達検査などのアセスメントを行った経験を活かし、知的障害児者の心理特性に関し、講義に加え演習を交えたアクティブ・ラーニング形式で、学生に指導している。

知的障害者の指導法 1	学科科目	明官 茂	2	特別支援学校での教員経験及び、国立特別支援教育総合研究所での講義・集団指導の経験を活かし、知的障害者の指導法について講義に加え、事例、演習を交えたアクティブ・ラーニング形式で学生に指導している。
知的障害者の指導法 2	学科科目	星山 麻木	2	療育センター、特別支援学校での指導経験から、アセスメントを行った経験を活かし、知的障害児者の指導、授業案づくり等、アクティブ・ラーニング形式で、学生に指導している。
病弱者の指導法	学科科目	妹尾 浩	2	特別支援学校での教諭、学部主任、教務主任、教頭、副校長、校長としての経験の内、副校長として勤務した病弱特別支援学校での経験を活かし、病弱者の心理・生理・病理に関し、講義に加え、演習を交えたアクティブ・ラーニング形式で、学生に指導している。
病弱者の心理・生理・病理	学科科目	妹尾 浩	2	特別支援学校での教諭、学部主任、教務主任、教頭、副校長、校長としての経験の内、副校長として勤務した病弱特別支援学校での経験を活かし、病弱者の心理・生理・病理に関し、講義に加え、演習を交えたアクティブ・ラーニング形式で、学生に指導している。
人材教育研究	学科科目	澤 利夫	2	行政経験、教育長の経験から、産業、行政、教育等の各分野の人材教育システムを取り上げ、現在の人材育成についての理解を深め、人材教育についての実践的な授業を展開し、将来、自分が担うべき責務や自らのキャリアデザイン、職業観の再構築を図ることを目標に学ばせる。
比較教育制度	学科科目	岸本 睦久	2	政府機関で海外教育事情調査や国際教育統計の開発・利用に行政官として関わってきた教員が、その実務経験を活かして比較教育制度論の基礎や応用を指導することで、世界の中の日本の教育について考える授業を行っている。
国語（書写を含む）	学科科目	俣田 康之	2	小学校教諭、校長、指導主事として小学校国語科の教育について研究・実践してきたことを生かして、1年生を対象として、小学校国語科教育について実践的に学ぶ授業を行っている。
		邑上 裕子		小学校教師として、東京都小学校国語教育研究会を中心に、子供の主体的な学習のあり方を実践研究してきた。基礎基本としての言葉の習得について、身近な話題題材を使って、グループを生かしたアクティブ・ラーニング等を体験的に学べるようにしている。
社会	学科科目	佐藤 裕之	2	小学校の社会科教育に関する基本原理と諸課題を学ぶ。特に学習指導要領をもとに、社会科の目標と内容の構成を理解するとともに、小学校教諭の実務経験を活かして学校現場での社会科教育の課題について体験的活動を通して解決する。
算数	学科科目	杉山 直道	2	専任教員免許を持ち、小学校教員として算数科指導の経験がある。その経験を生かし、実際の小学校算数科授業の画像や映像を利用したり、児童の反応・躓きを明示したりした内容を展開している。
		高島 勝也		東京都の公立小学校教諭、教頭、副校長、校長の実務経験がある。教育研究員(算数)、開発委員(算数)に選出され研究を進めてきた経験もある。区の算数部長として若手教員の指導にも力を入れてきた。算数の問題解決学習を実践的に指導する授業を進めている。
生活科	学科科目	小泉 和義	2	小学校教諭経験をもとに、現場で実践してきた授業改善や、児童理解等を授業に生かし、生活科の成り立ちやその意義を学ぶ。また、現場での授業づくりや児童の活動等に触れることも、講義内容としている。
		麩澤 和雄		生活科が新しい教科として誕生して以来、教員あるいは指導主事として、生活科の周知や授業の進め方等に関わってきた。この経験を生かし、大学では実践に基づいた指導を行っている。
初等社会科教育法	学科科目	榎原 直行	2	学習指導要領解説をもとに、小学校社会科の目標・内容の構成を理解するとともに、小学校教諭、小学校社会科教育研究会での経験を活かし、模擬授業を行なっていく中で社会科教育への理解と実践力をつけていく。
初等理科教育法	学科科目	小川 洋	2	学校現場（小学校）で教鞭をとっていた経験を生かして指導法について教えている。「この問いかけに児童たちはどう反応するだろうか？」など具体的に問いかけつつ、現場対応の方法とその考え方について学ぶ。
		小原 茂巳		学校現場（中学）で教鞭をとっていた経験を生かして指導法について教えている。「この問いかけに児童たちはどう反応するだろうか？」など具体的に問いかけつつ、現場対応の方法とその考え方について学ぶ。
		田辺 守男		中学校と高校で長く理科教育に携わっていた経験を生かして、いかに学生に意欲を持って学んでもらえるかを具体例を示しながら教えている。
初等音楽科教育法	学科科目	山内 雅子	2	昭和57年から平成25年まで東京都の小学校、小中一貫教育校で音楽専科教員として、その後副校長として勤務。その経験を生かして、師範授業、講義、模擬授業への適確な助言等を行っている。
初等図画工作科教育法	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
初等体育科教育法	学科科目	菊池 彰	2	小学校の体育科の授業を実践するために必要な知識と実践力を形成するための授業です。そのために、小学校での体育科授業を行うために、教師として必要な事柄を実践を通して学びます。領域としては、「器械運動系」「表現運動系」について、学習内容・指導法及び評価方法等について学びます。

書道 1	学科科目	石丸 真弥	2	高等学校の全日制・定時制において、書道ⅠⅡⅢを指導。この経験を活かし、ただ練習するだけでなく、書の背景も理解し、様々な「気づき」を得られるように教育している。文房四宝の鑑賞、採拓、アイディア書道も実施。
書道 2	学科科目	石丸 真弥	2	高等学校の全日制・定時制において、書道ⅠⅡⅢを指導。この経験を活かし、ただ練習するだけでなく、書の背景も理解し、様々な「気づき」を得られるように教育している。板書、硬筆、古筆鑑賞、料紙制作、アイディア書道も実施。
中等教育相談の基礎と方法	学科科目	高浪 文隆	2	様々な教育課題について、生徒指導主任、学級担任等として実際に教育現場で体験した様々な事例をもとに、セオリーのみにとらわれず、現場に即した解決策（最適解）を学生自ら探る。 教育相談等の基本的な知識について講義するとともに、学校現場で実践が多くされている様々なカウンセリング等の手法についてその実際を学ぶ。
		高野 良彦		
生徒・進路指導論	学科科目	榎 一男	2	中学校での教職経験・教育管理職経験をもとに、次年度、教育実習に向かう学生を対象に、生徒指導・進路の意味とその意義、進め方とその方法、留意点等について指導している。 30年間都内の公立中学校の社会科教員として勤務し、学年主任を長きにわたり務めた。そこでの経験を生かし、相互の信頼関係や人間尊重の理念を大切に授業を展開している。
		太田 理子		
道徳教育の指導法（中学校）	学科科目	小林 幹夫	2	東京都の教員として東京都小学校道徳教育研究会及び全国小学校道徳教育研究会に所属し、教育実践に努めてきたとともに、教育管理職及び指導行政職経験を生かし、現在も各種校内研修会講師として携わっている。このことから理論及び実践的指導力を身に付ける教育を進めていく。 小・中連携行事に携わり道徳教育および道徳授業の充実に尽力した経験を活かし、義務教育学校における道徳授業の指導・助言を行っている。 中学校の教員として実際に道徳授業を実践するとともに、指導主事をはじめ15年間の教育行政及び6年間の校長として教員の指導に当たった。その実務経験を踏まえ、学校における道徳教育及び道徳科の指導の在り方について指導している。
		大原 龍一		
		樋口 郁代		
地誌学概説	学科科目	長谷川 裕彦	2	第32次南極地域観測隊員であった経験を生かし、本科目の中で「両極地域の地誌学」について論じている。
地理学入門（地誌を含む）	学科科目	長谷川 裕彦	2	国交省委託の土砂災害・地震災害・火山災害に関わる地形判読・現地調査に携わった経験を有し、本科目の一部で気象災害に関連した災害教育を展開している。
自然地理学	学科科目	長谷川 裕彦	2	国交省委託の土砂災害・地震災害・火山災害に関わる地形判読・現地調査に携わった経験を有し、本科目の一部で上記災害に関連した災害教育を展開している。
人文地理学	学科科目	長谷川 裕彦	2	国交省委託の土砂災害・地震災害・火山災害に関わる地形判読・現地調査に携わった経験を有し、本科目の一部で開発と災害について論じている。
社会・公民科教育法 1	学科科目	宮本 登	2	中学校社会科教員としての経験を生かし、公民科（公民的分野）の重要性と生徒が興味関心をもつ授業の進め方を理解させるように努めている。
社会・公民科教育法 2	学科科目	宮本 登	2	中学校社会科教員としての経験を生かし、公民科（公民的分野）の重要性と生徒が興味関心をもつ授業の進め方を理解させるように努めている。
日本史概説	学科科目	則竹 雄一	2	中学高校の社会科教員としての実務経験を活かし、中学社会（歴史的分野）・高校日本史の内容を基礎としながら、新しい学説を踏まえてより高度な内容の授業を行っている。
日本史各論 1	学科科目	則竹 雄一	2	中学高校の社会科教員としての実務経験を活かし、中学社会・高校日本史での地域資料を通じての歴史教育につながる授業内容を行っている。
外国史各論 2（西洋史）	学科科目	上田 耕造	2	造幣博物館の非常勤講師として、博物館所蔵の英文史料（明治期のお雇い外国人に関する文書）の翻訳を行った。この時の経験と知識を活かし、史料図書館所蔵の貴重書を利用した授業を行っている。
数学科教育法 1	学科科目	小石沢 勝之	2	現職の中学校教員が、中学生の実態に即した教材理論や指導方法を教授することで、学生が実態を理解し、教科教育における研究視野を持った実践的な教員になることが期待できる。
数学科教育法 3	学科科目	北島 茂樹	2	主に前期中等教育における数学科に関わる指導内容や指導方法などについて、中学校教諭として数学科の指導に携わった経験を生かし、教育実習に向けた実践的指導力の育成を目指した教育を行っている。
数学科教育法 4	学科科目	北島 茂樹	2	主に後期中等教育における数学科に関わる指導内容や指導方法などについて、高等学校教諭として数学科の指導に携わった経験を生かし、教育実習に向けた実践的指導力の育成を目指した教育を行っている。
理科教育法 1	学科科目	田辺 守男	2	中学校と高校で長く理科教育に携わっていた経験を生かして、いかに学生に意欲を持って学んでもらえるかを具体例を示しながら教えている。
理科教育法 2	学科科目	田辺 守男	2	中学校と高校で長く理科教育に携わっていた経験を生かして、いかに学生に意欲を持って学んでもらえるかを具体例を示しながら教えている。

理科教育法 3	学科科目	高橋 延友	2	中学校理科を中心として、理科教育の知識と実践力を身につけることを目的とする。さらに教員としての実務経験を活かし、授業記録や評価方法など、理科の学習で必要となる技能を身につけさせる。カリキュラムマネジメントができる教師として、資質を指導案等の作成で実践的に学ばせていく。
理科教育法 4	学科科目	荒井 豊	2	小中学校での理科の授業や、埼玉県立教育センター主任指導主事（6年間）の実務経験を基に、小・中・高の理科指導法を講義している。具体的には、模擬授業を行わせ、指導講評している。
作曲・編曲法 1（基礎）	学科科目	源田 俊一郎	2	自分の合唱作品出版物が全国で歌われていること、また長年にわたり高校音楽教科書著者としての経験を生かし、作曲や編曲の実践を通して、音楽を生み出すことの難しさと喜びを体験してほしい。
作曲・編曲法 2（応用）	学科科目	源田 俊一郎	1	自分の合唱作品出版物が全国で歌われていること、また長年にわたり高校音楽教科書著者としての経験を生かし、作曲や編曲の実践を通して、音楽を生み出すことの難しさと喜びを体験してほしい。
器楽 4（和楽器）	学科科目	長谷川 愛子	1	高等学校において専門科目として箏曲実技を担当した経験を活かし、和楽器の実演を中心とした授業を行っている。
工芸 A	学科科目	楨野 匠	1	4年間の中学校教諭、1年間の高等学校講師の経験(美術科の授業)を生かし、実践的な授業展開を想定した題材設定をして授業を行なっている。
工芸 B	学科科目	楨野 匠	1	4年間の中学校教諭、1年間の高等学校講師の経験(美術科の授業)を生かし、実践的な授業展開を想定した題材設定をして授業を行なっている。
工芸基礎 A	学科科目	楨野 匠	1	4年間の中学校教諭、1年間の高等学校講師の経験(美術科の授業)を生かし、実践的な授業展開を想定した題材設定をして授業を行なっている。
工芸基礎 B	学科科目	楨野 匠	1	4年間の中学校教諭、1年間の高等学校講師の経験(美術科の授業)を生かし、実践的な授業展開を想定した題材設定をして授業を行なっている。
図画工作	学科科目	楨野 匠	2	4年間の中学校教諭、1年間の高等学校講師の経験(美術科の授業)を生かし、実践的な授業展開を想定した題材設定をして授業を行なっている。
教職美術入門（鑑賞）	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
美術科教育法 1	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
美術科教育法 2	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
美術科教育法 3	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
美術科教育法 4	学科科目	野沢 二郎	2	16年間の高等学校教諭としての経験(美術科の授業、担任等の業務)を生かし、実践的指導力を身に付けられる授業になるよう心掛けている。
デザイン A	学科科目	山口 昌弘	1	グラフィックデザインの実務経験を生かし、ポスター、シンボルマーク制作について指導している。
デザイン B	学科科目	山口 昌弘	1	グラフィックデザインの実務経験を生かし、紙粘土による立体模型、キャラクター制作について指導している。
映像メディア表現 3	学科科目	山口 昌弘	1	写真や映像制作の実務経験を生かし、アニメーション制作について指導している。
映像メディア表現 4	学科科目	山口 昌弘	1	写真や映像制作の実務経験を生かし、ミュージックビデオなどの制作について指導している。
立体構成基礎	学科科目	山口 昌弘	1	空間デザインなどの実務経験を生かし、自然物（石、枝、貝殻）などを使って立体を構成。また、人工物（紙、ダンボール）などを使って立体を構成。立体構造の基礎。
平面構成基礎	学科科目	山口 昌弘	1	グラフィックデザイナーとしての実務経験を生かし、デザインの基礎となる平面構成を学ぶ。直線、曲線、単純な形状や色彩を使って個々のイメージにおける四季を表現。
保健体育科教育法 1	学科科目	倉田 朋保	2	公立学校教員や教育管理職などの教員養成経験に基づき、保健体育科の学習指導要領や今日的な教育課題を理解し、保健体育科教員に求められる基礎的基本的な資質や能力の育成を目指し、講義や課題解決学習を行う。
保健体育科教育法 2	学科科目	関野 智史	2	現職で実際に普段から現場に立つ教員が、教育現場の現状や課題を踏まえながら、教員となった際に役立つ指導や教材の工夫について具体的内容を伴った授業を行っている。
英語科教育法 1	学科科目	武井 修	2	中学校、高等学校で34年間英語科教諭として勤務した。その経験を生かして効果的な授業のあり方を模擬授業等を通して具体的に指導している。
英語科教育法 2	学科科目	武井 修	2	中学校、高等学校で34年間英語科教諭として勤務した。その経験を生かして効果的な授業のあり方を模擬授業等を通して具体的に指導している。
英語科教育法 3	学科科目	武井 修	2	中学校、高等学校で34年間英語科教諭として勤務した。その経験を生かして効果的な授業のあり方を模擬授業等を通して具体的に指導している。

重複障害・LD等の心理・生理・病理	学科科目	森下 由規子	2	情緒障害等通級指導学級の担任、臨床発達心理士としての小・中・高校巡回指導の経験を活かし、発達の視点と障害者の心理、病理をふまえた実践に役立つ指導を行っている。
重複障害・LD等教育の理論と実際	学科科目	島田 博祐	2	臨床心理士・特別支援教育士として、小中学校の巡回相談や特別支援学校の専門的アドバイザーを行ってきた経験を生かし、LDをはじめとする発達障害児、重複障害児の学習・生活指導に関する基礎を学生に指導している。
肢体不自由者の指導法	学科科目	長沼 俊夫	2	東京都公立養護学校（特別支援学校）教員24年間、国立特別支援教育総合研究所総括研究員9年間の実務経験のある教員が、学校現場の実践例を具体的に示し、成功事例だけではなく、失敗事例も挙げて「考える」教育を行う。
肢体不自由者の心理・生理・病理	学科科目	星山 麻木	2	特別支援学校で肢体不自由児を担当した経験より、実践的な演習を取り入れ、指導案づくり、教材づくりを行っている。
視覚障害者の指導法	学科科目	江口 美和子	1	盲学校35年の実践経験を基に、視覚障害教育の基本・応用・具体的実践例を通して、指導法を伝えている。文部科学省の教科書編集の経験も伝えている。
特別支援学校教育課程論	学科科目	廣瀬 由美子 妹尾 浩 明官 茂 平井 威	2	特別支援学校等の実務経験を生かし、特別支援学級や通級による指導、特別支援学級の教育課程等について講義を行っている。
障害者教育総論	学科科目	廣瀬 由美子	2	小学校教員の経験及び国立特別支援教育総合研究所の経験を生かし、特別支援教育（障害者教育）を全体的に指導している。その際、アクティブ・ラーニングの授業方法を取り入れ、各障害別の内容をまとめた新聞づくりをワークとしても取り入れている。
聴覚障害者の指導法	学科科目	藤本 裕人	1	特別支援学校（聴覚障害）での指導経験のある教員が、その実務経験を生かし、学習指導要領に基づく教科指導や自立活動の指導の解説において、発音指導の具体例などを取り入れて指導を行っている。
聴覚障害者の心理・生理・病理	学科科目	藤本 裕人	1	特別支援学校（聴覚障害）での指導経験のある教員が、学校の教室での音環境の整備について、教室内の騒音を把握する方法や、授業中の児童の補聴器装用を想定した体験学習などを取り入れて、指導を行っている。
子どもと健康	学科科目	上出 香波	1	小児病棟の保育士、臨床発達心理士としての臨床経験を基に、医療と保育の側面から健康領域における子どもの成長・発達、遊びや生活の実践を解説及び演習をおこなう。
子どもと身体表現	学科科目	内田 裕子	1	私立幼稚園で教諭として保育をしていた経験を生かし、子どもたちがどのような身体を使った遊びを経験しているのか、また、遊びをどのように展開することで多様な動きを引き出すことができるかを指導している。
子どもと表現	学科科目	柿田 比佐子	2	乳・幼児対象の表現活動について、具体的な実践内容を主に取り上げている。幼稚園での長年の実務経験から実際の子どもの様子や指導のポイントを含められるので、具体性があるわかりやすい内容となっていると考える。
子どもの生活と遊び（運動遊び）	学科科目	神代 洋一	1	児童館、学童保育での実務経験を生かし、0才～小学生期における運動遊びについてアクティブ・ラーニング方式による授業を行っている。
子どもの生活と遊び（児童文化）	学科科目	林 亜貴	1	幼稚園教諭として全年齢のクラス担任を担った中で、子どもの実態や園生活に相応しい遊びを展開していった経験を生かし、学生が子どもを取り巻く環境について理解を深めた上で、遊び（児童文化）との密接な関わりについて、実践を踏まえた教育を行っている。
子どもの保健（演習）	学科科目	玉内 裕美	1	看護学・助産学教育の実務経験及び助産業務・母性看護業務・小児看護業務・外科看護業務の実務経験を活かし、養護技術、応急処置、救命救急処置、事故発生時の危機管理と対応について実技演習を中心に授業展開する。
子どもの保健 1	学科科目	玉内 裕美	2	看護学として母子保健学の教育、妊産婦・乳幼児の健康管理及び国際協力活動の実務経験を活かし、子どもの保健の意義、健康と社会環境、保育における子どもの健康増進へのアプローチ等について具体的に解説する。
子どもの保健 2	学科科目	玉内 裕美	2	看護学・助産学教育の実務経験及び乳幼児健診・予防接種・小児看護業務の実務経験を活かし、健康評価、起こりやすい疾病や感染症の予防と対応、慢性疾患をもつ子どもの保育等について事例を示しながら授業展開する。
子育て支援論	学科科目	北相模 美恵子	2	認可保育園で28年間保育士を行っていた経験から、現代の子育て困難や育児不安・虐待を取り上げ、具体的な事例をグループで話し合い発表する等の学生が主体的に参加する授業を行っている。
社会的養護 1	学科科目	奥田 晃久	2	施設経験及び家庭養護の35年以上の実務経験のある教員が、その経験を活かし、実務的な授業を行う。
社会的養護内容	学科科目	石井 真一	2	現在も社会的養護の実践現場で従事しているため、最新の施策動向や子どもたちの状況を詳細に伝えることができる。また、福祉的な観点として、当事者の声をリアルに学生へ教えることができ、今後の展望など考える材料となる。
		奥田 晃久		社会的養護（家庭養護）に関する理論を基本とした演習科目。担当教員の35年以上の現場経験を活かし、教科書にまだ触れられていない新しい現場の動きにも着目した演習の工夫。演習を通じて社会人となった時に現場で活かせる知識の吸収にも尽力。
相談援助	学科科目	奥田 晃久	2	担当教員の児童相談所の児童福祉司（ケースワーカー）、視覚障害者へのケースワーカー、施設での利用者相談への援助に携わった成功事例・失敗事例という実例を交えながらの生きた授業の実施。

障害児保育	学科科目	北相模 美恵子	2	認可保育園で28年間保育士を行っており、口唇口蓋裂・脳性まひ・自閉症スペクトラム・知的障害等の子どもたちを保育してきた。その中で得た具体的な事例を提示し考えながら、学生が主体的に参加する授業を行っている。
		佐々木 沙和子		児童発達支援センター等で保育士・社会福祉士として勤務した経験をもとに、体験授業を中心に障がい種別や障がい児の保育、保護者支援に加えて学生の身近な「障がい」や人々の多様性に関する内容も取り入れている。
乳児保育実践論	学科科目	北相模 美恵子	2	認可保育園で28年間保育士を行っており、0・1・2歳児保育を同年齢・異年齢で経験してきた。学生に0・1・2歳児に適切な保育環境を構成するための力量を育てるために、具体的な遊具作成や事例検討を行っている。
保育内容総論	学科科目	藤田 久美子	2	幼稚園教諭としての実務経験を生かし、保育の現状、課題を含め保育内容を総合的にとらえる意味を具体的な実践を通して授業で伝える。
保育内容C・環境	学科科目	真木 千壽子	2	幼稚園に10年、保育園に33年勤務し、幼稚園では主任、副園長を経験、保育園では施設長や園長を経験した教員が、現場での実践を含めた授業を展開し、大学卒業後に教育、保育現場で即戦力となる学生を育成している。
保育内容E・表現1	学科科目	松井 いずみ	2	複数の保育園の音楽講師や幼児の音楽教室講師経験のある教員が、その実務経験を生かして、乳幼児期における音楽活動や表現について、講義と実践を通じた授業を行っている。
		吉田 恵		地域のコミュニティ協議会に所属し、保育園、幼稚園、小学校、子育て支援センター等にて、子どもたちとの音楽活動を実践している経験を生かした内容の授業を行っている。また音楽大学附属高校や付設音楽教室でソルフェージュ授業やピアノ実技指導を20年以上行う実務経験を生かし、音楽の専門的な知識と技術を学生にも教育している。
乳児保育1	学科科目	北相模 美恵子	1	認可保育園で28年間保育士を行っており、0・1・2歳児保育を同年齢・異年齢で経験してきた。その中で得た具体的な事例を考えながら、学生が主体的に参加する授業を行っている。
		齋藤 政子		保育士としての実務経験及び発達相談員としての実務経験を生かして授業内容を工夫・計画し、実施している。
幼児の音楽	学科科目	松井 いずみ	2	複数の保育園の音楽講師や幼児の音楽教室講師経験のある教員が、その実務経験を生かして、子どもたちが音楽を通して感性を養い、創造性を高めることの意義や、保育の展開に必要な技術を実践的に教授している。
幼児の体育	学科科目	内田 裕子	2	私立幼稚園で教諭として保育をしていた経験を生かし、学生の行う遊びの提案、実践を通じ、保育現場で生きる運動遊びを指導している。
計			186	

【経営学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
IoT マーケティング	学科科目	伊藤 智久	2	経営コンサルタントおよびベンチャー企業支援組織の経営経験をもつ教員が、実践的な事業開発に求められるノウハウを身につけられる教育を実施している。
イノベーション実践論	学科科目	伊藤 智久	2	経営コンサルタントおよびベンチャー企業支援組織の経営経験をもつ教員が、実践的な事業開発に求められるノウハウを身につけられる教育を実施している。
サプライチェーンマネジメント	学科科目	片野 浩一	2	企業との共同研究やコンサルティングの実務経験のある教員が、事例紹介を交えた授業を行っている。
スポーツ・エンターテインメントビジネス論	学科科目	若木 宏一	2	民間企業に15年勤務、編成局のスポーツ番組やドラマ担当として多くの番組に関与。その経験を生かして、スポーツビジネスや映画、演劇ビジネスについて論じている。
ビジネスアカウンティング	学科科目	山路 暁彦	2	営業職、事務職のそれぞれの実務経験から、「大学で身につけておくべき」事柄と「どのように活かせるか」を念頭に、実際の業務で役立つ知識を伝えている。
ビジネス実務基礎	学科科目	田原 洋樹	2	民間企業で地域の活性化、観光振興事業に取り組んだ経験を活かし、多摩地域の企業や自治体と連携し、学生主体のアクティブ・ラーニング形式による域学連携型の地域創生プログラムを展開している。
プライダル・マーケティング論	学科科目	江口 貴彦	2	約18年間以上に渡るプライダル・レストラン・ホテルでの現場実務とコンサルティング経験を基に、プライダル・ビジネス全般に関する専門的な教育を実施している。
ホスピタリティ・マネジメント論	学科科目	江口 貴彦	2	約18年間以上に渡るプライダル・レストラン・ホテルでの現場実務とコンサルティング経験を基に、「ホスピタリティ」のあるサービスを提供している企業の具体的なマネジメント事例に関する教育を実施している。
		児玉 桜代里		航空会社において客室乗務員の経験をもつ教員が、CSに効果をもつホスピタリティを軸とした理論を基に、マネジメントの基礎を論じ、CSとESの相互満足を実現している成功企業を事例にフレームワークを用いて分析する。
ホスピタリティ・マネジメント実践論	学科科目	江口 貴彦	2	約18年間以上に渡るプライダル・レストラン・ホテルでの現場実務とコンサルティング経験を基に、『ホスピタリティ・マネジメント論』で学んだ専門知識に加えて、実務スキルの習得を目指した実践型教育を実施している。（サービス接遇検定準1級レベル）
		児玉 桜代里		航空会社において客室乗務員の経験をもつ教員が、顧客の要望をあらかじめ想定したマニュアルの実践だけではなく、情緒的・態度的な付加価値を創造するために実効性のある各種の接遇方法論を説明し、ケーススタディ、ロールプレイ、トレーニングを中心に行う。
マーケティング・ケーススタディ	学科科目	伊藤 智久	2	経営コンサルタントおよびベンチャー企業支援組織の経営経験をもつ教員が、実践的な事業開発に求められるノウハウを身につけられる教育を実施している。
監査論	学科科目	栗城 綾子	2	監査実務経験をもつ教員が、その経験を生かし、監査理論の説明の他に、ケーススタディ（監査要点の識別や実証手続等）や監査計画策定のためのグループディスカッションを通して、学生の理解が進むよう工夫している。
観光ビジネス実務	学科科目	三ツ井 好和	2	鉄道事業・バス事業・旅行業などの実務経験を活かし、豊富な人的交流のもとゲストスピーカーを招きビジネスの最前線のゲストの講話を通じ、営業活動の知識を習得する。
観光ビジネス論	学科科目	浅川 正彦	2	旅行会社に在籍中（約40年間）に培ってきた販売・営業活動や添乗業務のノウハウ、また役員として営業の他に経理・計数を含めた経営経験を生かし、日本のみならず世界に目を向け、観光の役割や意義などを教育する。
		三ツ井 好和		鉄道事業・バス事業・旅行業などの実務経験を活かし、国内観光産業関連（旅行総消費額）がもたらす経済効果は非常に大きなものであることの認識のもと、今後の経済の回復、余暇時間の増加、高齢者の増加など消費支出の伸長が見込まれている中、国内における産業基盤として期待の高い観光産業についての役割、位置づけを認識する講義を実施する。
企業家論	学科科目	森屋 一訓	2	中小企業の代表者を講師として招聘し、中小企業の現状と課題、経営の実際について講義いただく。企業家と直接かわす質疑応答の中から経営学各分野から見た地域業の取り組みについて考察する。
起業実務	学科科目	田原 洋樹	2	民間企業で地域の活性化、観光振興事業に取り組んだ経験を活かし、多摩地域の企業や自治体と連携し、学生主体のアクティブ・ラーニング形式による域学連携型の地域創生プログラムを展開している。
金融論	学科科目	中嶋 教夫	2	マクロ、ミクロといった、理論的アプローチだけではなく、元銀行員として、実際の実務で必要となる融資判断、FPの知識、資金繰り等について、取り組んでいる。
事業承継・起業と会計	学科科目	細沼 幸央	2	税理士として、開業15年以上の実務経験をもつ教員が、将来、家業を継ぐ予定の後継者や起業を考えている学生に対し、経営者としての知恵を講義している。
租税法	学科科目	細沼 幸央	2	税理士としての専門知識を生かし、時代に即した事例などを多数紹介している。理論と実務が結びつくことにより理解が深まる。

地域ブランド論	学科科目	片野 浩一	2	企業との共同研究やコンサルティング経験を生かして、事例紹介を行う。
		田原 洋樹		民間企業で地域の活性化、観光振興事業に取り組んだ経験を活かし、多摩地域の企業や自治体と連携し、学生主体のアクティブ・ラーニング形式による域学連携型の地域創生プログラムを展開している。
中小企業経営論	学科科目	森屋 一訓	2	地域金融機関で起業、事業継承、M&A、IPOなど中小企業のさまざまな課題解決に実務者として取り組んできた教員が、事例紹介やグループ討議等を交えて地域活性化と中小企業経営について講義する。
中小企業戦略論	学科科目	森屋 一訓	2	本講座では、国、自治体、金融機関、商工会議所など地域活性化と中小企業支援に大きな役割をはたしている方々から講義をいただき、地域と中小企業の経営に有用な支援策について学ぶ。
計			42	

【デザイン学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
インターネットビジネス論	学科科目	平藤 篤	2	2000年初頭より、Webディレクター・プランナーとして制作業務及び、コンサルティングを通じた経験をもとに、インターネットにおける時代の変容やビジネス手法、最新の動向を伝えている。
インターンシップ	学科科目	池谷 聡	2	企業内人材開発に関する実務経験を持つ教員が、学生の就業意識を高めるために企業内実習の指導を行っている。
インタラクティブデザイン論	学科科目	小川 俊二	2	デザインの現場で40年実務があり現在も継続中である。実地でのデザインプロセスと実践での資料やデザイン実作品を参照しながら、その内容や方法を伝えている。これらは書物では学ぶことのできない内容である。
インテリアデザインA	学科科目	西本 剛己	4	ショーウィンドウディスプレイデザインの7年間の実務経験を生かして、実在する店舗と同じ条件で、年間4シーズンのショーウィンドウの企画を立てさせ、そのうちの一つの図面と模型を制作させている。
インテリアデザインC	学科科目	西本 剛己	4	1989年から30年間にわたる店舗デザインの実務経験を生かして、「新しい物販カフェ」をテーマに、実在する空間を物販と飲食を兼ねた商業空間にするための企画書、図面、3DCGの制作を行わせている。
グラフィックデザインA	学科科目	富田 洋美 松野 良則 川又 淳	4	グラフィックデザイン、写真表現などの実務経験者が、グラフィックデザインおよび写真表現の技術や考え方についての教育を行っている。
グラフィックデザインB	学科科目	富田 洋美 E. バーグマン	4	グラフィックデザイン、イラストレーション、コンピュータグラフィクスなどの実務経験者が、イラストレーション表現についての歴史や考え方、アナログやCGによる表現技術について教育を行っている。
グラフィックデザインC	学科科目	富田 洋美 金 晃平	4	ブランドデザイン及びパッケージデザインの実務経験者とグラフィックデザインの実務経験者が、企業ブランド、商品ブランド及びパッケージデザインについて、考え方や作成技術の教育を行っている。
クラフトデザインA	学科科目	塩野 麻理 深代 満久 藤本 明洋	2	各種材料加工技術を用いた作品、クラフト製品のデザインおよび制作を行う。特に木材加工を専門研究分野とする教員により、その実務経験を活かした授業を実施している。
クラフトデザインB	学科科目	塩野 麻理 清水 里佳 長島 小春	2	各種材料加工技術を用いた作品、クラフト製品のデザインおよび制作を行う。特に木材加工および陶磁器を専門研究分野とする教員により、その実務経験を活かした授業を実施している。
コンピュータスキル1	学科科目	本間 由佳 三本松 淳 原 裕佳子	1	教育普及のための教材デザインを行っている教員、撮影や編集を専門とする教員、企業でパッケージデザインを行っている教員が実務的な経験を生かし、コンピュータやアプリケーションを使用する際の基礎的な指導を行っている。
コンピュータスキル2	学科科目	本間 由佳 三本松 淳 早瀬 交宣	1	教育普及のための教材デザインを行っている教員、撮影や編集を専門とする教員が実務的な経験を生かし、コンピュータやアプリケーションを使用する際の基礎的な指導を行っている。
コンピュータ表現応用実習	学科科目	石井 海	1	デザイン事務所でのモーターサイクルやロボティクスのデザイン研究、開発の経験を活かし、3DCGソフトウェアの使い方を通して実務工程を配慮したデザインの進め方を学習できるように指導している。
サウンドデザイン実習	学科科目	仲條 大亮	1	音響デザイン、空間デザイン、各種プロダクト・サービスにおける企画・広報等のデザイン経験を生かして、学生の多様な企画に沿った実習制作指導を行っている。
ソーシャルデザイン論	学科科目	萩原 修	2	多摩エリアで、15年以上にわたり、様々なイベントやメディア、拠点の企画運営に関わる教員が、自身のソーシャルデザインの実例と実務経験から得たネットワークを活かして、学生が現場の状況を感じながら、学ぶ機会を提供している。
デザインキャリア特別講義	学科科目	池谷 聡	2	デザインや企画に関連した実務経験を有するゲストスピーカーと企業内人材開発に関する実務経験を持つ教員が連携し、様々な職業の実務に関する理解を促すことを目的として講義を行っている。
デザインと法	学科科目	山本 典弘	2	弁理士としての実務経験のある教員が、クライアントからの相談、商品開発の相談の中で生じた事例を盛り込んで授業をしている。
デザインプログラミング	学科科目	武藤 努	1	デジタル技術を活用したビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザイン、デザインコンサルティングの実務経験を持つ教員が、デザインに必要なプログラミング思考の教育を行っている。
デザインマネジメント論	学科科目	萩原 修	2	印刷会社、住まいづくりの情報センター、個人で、30年以上にわたり、様々な企画・販促、広報などの実務を経験した教員が、自身のデザインマネジメントの実例も踏まえて、学生が現場の状況を感じながら、学ぶ機会を提供している。
ファッションデザインA	学科科目	田中 久隆 下後 充代	4	ファッションに関する企画、制作（パターン、縫製）などの実務経験者2名がファッションデザインの技術および知識についての教育を行っている。
ファッションデザインB	学科科目	田中 久隆 下後 充代	4	ファッションに関する企画、制作（パターン、縫製）などの実務経験者2名がファッションデザインの技術および知識についての教育を行っている。
ファッションデザインC	学科科目	田中 久隆	4	ファッションに関する企画、制作（パターン、縫製）などの実務経験者がファッションデザインの技術および知識についての教育を行っている。

ブランディング論	学科科目	萩原 修	2	印刷会社、住まいづくりの情報センター、個人で、35年以上にわたり、様々な企画・販促、広報などの実務を経験した教員が、自身が手がけたブランディングの実例も踏まえて、学生が現場の状況を感じながら、学ぶ機会を提供している。
プロダクトデザインA	学科科目	浅井 治彦	4	オートバイから生活雑貨、医療機器までの広いプロダクトデザインの実務経験を生かして、デザインのプロセスからアウトプットまでを、実践教育として授業に生かしている。
プロダクトデザインB	学科科目	石井 海	4	デザイン事務所でのモーターサイクルやロボティクスのデザイン研究、開発の経験を活かし、デザインをしていく上での発想方法の考え方やアイデアを表現として定着させる一連の作業工程を体験させている。
プロダクトデザインC	学科科目	浅井 治彦	4	プロダクトの企画からブランディングデザインまでの総合デザインの実務経験を生かして、商品をおいかにデザインするかを実践的に企画から販売までを教えている。
ポップカルチャービジネス論	学科科目	佐々木 果	2	出版社で編集者として勤務。後にフリーランスとして編集・プロデュース業でマンガ、アニメ、ゲームその他の分野で活動中の経験から講義を行っている。
マンガデザインA	学科科目	佐々木 果	4	マンガ編集者として、マンガ家やその候補・予備軍とトレーナーとしての業務を行ない、その活動内容を生かした授業を行っている。
マンガデザインB	学科科目	佐々木 果	4	マンガ編集者として、マンガ家やその候補・予備軍とトレーナーとしての業務を行ない、その活動内容を生かした授業を行っている。
マンガデザインC	学科科目	佐々木 果	4	マンガ編集者として、マンガ家やその候補・予備軍とトレーナーとしての業務を行ない、その活動内容を生かした授業を行っている。
メディアデザインA	学科科目	武藤 努 柳川 智之	4	デジタル技術を活用したビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザイン、デザインコンサルティングの実務経験を持つ教員が、デジタルアプリケーションの教育を行っている。
メディアデザインB	学科科目	武藤 努	4	デジタル技術を活用したビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザイン、デザインコンサルティングの実務経験を持つ教員が、インターフェースデザインや映像表現の教育を行っている。
メディアデザインC	学科科目	武藤 努 柳川 智之	4	デジタル技術を活用したビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザイン、デザインコンサルティングの実務経験を持つ教員が、データビジュアライゼーションやインタラクションの教育を行っている。
メディア表現実習	学科科目	渡辺 恭輔	1	WEBサイトの企画・制作の実務経験を有する教員が、インターフェイスデザインやWEBページを制作する技術を指導する。
材料加工A（アナログ）	学科科目	塩野 麻理 深久 明洋 藤本	1	各種材料加工技術を用いた作品、製品のデザインおよび制作を行う立体造形、彫刻、を専門研究分野とする教員により、その実務経験を活かした授業を実施している。
材料加工B（デジタル）	学科科目	土田 俊介 田中 久隆	1	ファッションデザイン、アート作品制作などの実務経験者が、デジタル工作機器を用いた工作技術についての教育を行っている。
視覚デザインコラボレーション	学科科目	萩原 修	2	テレビの報道番組の現役プロデューサー、ディレクターの2名が、現場の経験をもとに、テレビ番組の企画制作の基本や方法を伝え、様々な現場でおきる問題点を指摘しながら、学生を指導している。
生活デザインコラボレーション	学科科目	萩原 修	2	テレビの報道番組の現役プロデューサー、ディレクターの2名が、現場の経験をもとに、テレビ番組の企画制作の基本や方法を伝え、様々な現場でおきる問題点を指摘しながら、学生を指導している。
生活デザイン基礎演習	学科科目	浅井 治彦	2	身近な生活のデザインの基礎を、それぞれの製品、空間、ファッションの実務経験を生かして、わかりやすく、実践的に役立つ教育を目指している。
表現基礎A（平面・立体）	学科科目	川又 淳 三本松 淳 菅 木綿子 徐 慧 山田 みのり	1	グラフィックデザイン、アート作品制作などの実務経験者が、造形表現のための基礎的な技術や考え方についての教育を行っている。
表現基礎B（観察）	学科科目	土田 俊介 浅井 治彦 塩野 麻理 渋谷 和良 川又 淳 朝倉 知子 田崎 咲絵 村田 桂太	2	プロダクトデザインやグラフィックデザイン、アート作品制作などの実務経験者が、製図やデッサンなどの観察技法についての教員を行っている。
表現基礎C（構成）	学科科目	川又 淳 三本松 淳 徐 慧	1	グラフィックデザイン、アート作品制作などの実務経験者が、造形表現のための基礎的な技術や考え方についての教育を行っている。
表現基礎D（伝達）	学科科目	土田 俊介 浅井 治彦 塩野 麻理 渋谷 和良 富田 洋美 朝倉 知子 田崎 咲絵 村田 桂太	2	プロダクトデザインやグラフィックデザイン、アート作品制作などの実務経験者が、製図やデッサンなどの伝達技法についての教員を行っている。

表現基礎実習 F (印刷技法)	学科科目	渋谷 和良 富田 洋美	1	版画の実務経験がある教員が、オフセット印刷の原型である、リトグラフ (平版画) の教育を行う。また、グラフィックデザインの実務経験がある教員が、現代の印刷技術及びオフセット四色分解印刷の原理について教育を行う。
計			111	

【心理学部】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
カウンセリング実践論	学科科目	田淵 尚子	2	カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）として、現在も教育機関等でカウンセリングを行っており、心理臨床の現場での実践経験を生かした授業を行っている。
こども心理療法論	学科科目	久持 修	2	スクールカウンセラーや保育園でこどもの心理療法を行ってきた実務経験を生かして、こどもへの具体的なアプローチの仕方について講義を行っている。
健康・医療心理学	学科科目	石井 雄吉	2	公立大学医学部附属病院に心理判定員として20年間勤務した経験から、主に医療における臨床心理学について自ら体験したエピソードを踏まえて講義している。
産業・組織心理学	学科科目	尾野 裕美	2	企業の人事部において採用や研修の業務をしていた経験を生かし、産業・組織心理学の「人的資源管理」や「組織行動」の領域について、実務的な話を交えて講義している。
児童心理学	学科科目	矢代 佐枝子	2	保健所で心理判定員として親子の心理問題の相談を受けた経験を生かして、相談の受け方やポイントなど児童の心理的問題を扱う際の参考を教示している。
消費者行動論	学科科目	尾野 裕美	2	商品開発およびマーケティングの業務経験を生かし、また企業とコラボレーションして、学生がチームごとに企業からの課題に取り組むPBL型教育を行っている。
障害者・障害児心理学	学科科目	竹内 康二	2	小・中・高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験を生かして、障害児やその保護者への心理支援についての知識を提供している。
心理学で拓くキャリア	学科科目	尾野 裕美	2	企業の人事部において新卒採用の業務経験のある教員が、就職活動について採用する側からの観点を提供することを通して学生を指導している。
心理臨床支援技法論	学科科目	石井 雄吉	2	公立大学医学部附属病院に心理判定員として20年間勤務した経験および中越地震や東北沖太平洋地震での被災者支援経験から、各種支援技法について演習も加えて講義している。
性格心理学実践論	学科科目	井上 和哉	2	臨床心理士として、心療内科で勤務を行っている。具体的には、不安症、うつ病、などを対象にカウンセリングを行っている。本講義では、カウンセリングにおける性格検査の有用性やその理解について、臨床経験を踏まえながら講義をする。
精神医学概論	学科科目	小野 次朗	2	小児科神経外来の実務経験のある教員が、公認心理師として知っておくべき精神関連の生理・病理について解説する。
知覚・認知心理学	学科科目	境 敦史	2	15回の授業のうち、第3回「視覚現象から捉えられる視覚神経系のしくみと障害（2）」において、防衛庁教官（助手・防衛医大病院勤務）時代に経験した皮質盲の症例を踏まえ、教えている。
聴知覚心理学	学科科目	境 敦史	2	15回の授業のうち、第5回「聴覚の解剖学・生理学（2）」において、防衛庁教官（助手・防衛医大病院勤務）時代に経験した症例を踏まえ、聴覚と言語の障害、そのリハビリテーションについて教えている。
犯罪心理学	学科科目	吉永 千恵子	2	矯正施設での経験を活かし、個人情報保護に配慮しつつ典型事例を作成、それに即して犯罪心理を解説している。また矯正施設での処置技法や処置プログラム等を紹介し、今後臨床心理に期待される分野を紹介している。
臨床神経心理学	学科科目	松岡 恵子	2	臨床心理技術者として、NPO法人、社会福祉法人などで高次脳機能障害をもつ方への支援を行ってきた教員が、その実務経験を活かし、当事者の持つ困難さにどのように貢献できるか、具体的に教育している。
計			30	

【教育学部（通信教育課程）】

授業科目名	科目区分	担当教員名	単位数	授業概要
図書館の基礎と展望	全学共通科目	二村 健	2	9年間の図書館業務の実務経験を活かして、図書館業務全般の解説をおこない、図書館とは何たるかを学生に講義している。
初等国語科教育法（書写を含む）	学科科目	俣田 康之	2	小学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、国語科教育を生きて働く国語の力を確かに育成するものに改善していくための国語科教育の在り方について、基本を踏まえながら実践的な内容の講義、演習を行う。
初等図画工作科教育法	学科科目	野沢 二郎	2	図画工作科の小学校教諭として豊富な経験をもつ教員が、授業の実践例を画像・映像で見せ、受講者自身が造形活動を体験させることで視覚的・体感的な理解を目指した授業を行う。
初等体育科教育法	学科科目	今福 一寿	2	小学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、小学校学習指導要領等についての理解を深めながら体育科を担当するために必要な体育の科学的知識や実践的指導力について講義する。
肢体不自由者の指導法	学科科目	山口 真佐子	2	特別支援学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、肢体不自由者の指導法に関する基本的事項についての理解を深め、肢体不自由特別支援学校等に在籍する多様な児童生徒に対する指導計画の作成や指導の在り方について考えるための講義演習を行う。
教職実践演習（教諭）	学科科目	中村 静江	2	小学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、学習計画を立案できる授業を行う。教員からの講義は必要最小限にとどめ、一人一人の学生が主体的、実践的な学びが展開できるよう、適切な形式で構成する授業を行っている。
初等教育実習指導	学科科目	堀家 千晶	1	小学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、教育実習に向けた基礎的な能力・意欲・態度を培い、教育実習の意義や内容を明確にし、教育実習の実際の場面に対応した講義、演習を行う。
中等教育実習指導	学科科目	榎 一男	1	中学校教諭、学校長として豊富な経験をもつ教員が、これまでの学習を踏まえた上で教育実習に臨むための自らの課題を設定するとともに、そのための準備についての講義や演習を行う。
計			14	